ビルトインコンロ
取扱説明書 保証書付

Si 全ロセンサー搭載 センサーコンロ

家庭用

	60cm幅	75cm幅
代表品名コード	C3WF8PWAVST	C3WF9PWAVST
型式名	C3WF8PWA	C3WF9PWA

このたびは、ハーマンのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
○この取扱説明書の66ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。

くらしと技術のいい関係
HARMAN

36373250
TU32-05

らくらく操作！

楽々点火方式 点火ボタンを押し、指を離しても連続スパークして自動点火

温調操作部 ワンプッシュで開閉できる

グリルとびら部 グリル部スライドレール方式で開閉がスムーズ

おまかせ機能！

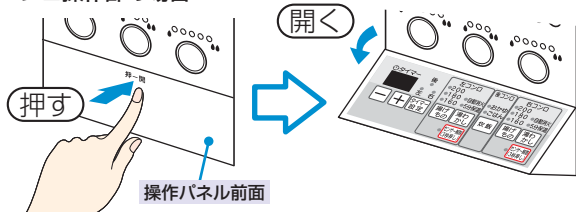
- **タイマーモード** 1分単位で消火時間を設定できる
- **揚げものモード** 揚げものの設定調理油温を保つ
- **湯わかしモード** お湯が沸けば自動で消火
- **炊飯モード** 自動でガス火のご飯が炊ける
- **オートグリル** 焼き時間・火加減を自動でコントロール

安全機能！

- コンロ グリル **立消え安全装置** 万が一火が消えても、ガスを自動でしゃ断
- グリル **グリル過熱防止センサー** グリル庫内の温度が異常に高くなると、自動で火力を弱めたり、自動で消火
- コンロ **焦げつき自動消火機能** 鍋が焦げつきはじめると自動で消火
- コンロ **天ぷら油過熱防止機能** 油の過熱による発火を防ぐため、自動で消火
- コンロ グリル **消し忘れ消火機能** じっくり料理の消し忘れも、自動で消火
- コンロ **鍋なし検知** 鍋を離したら、弱火になって自動で消火

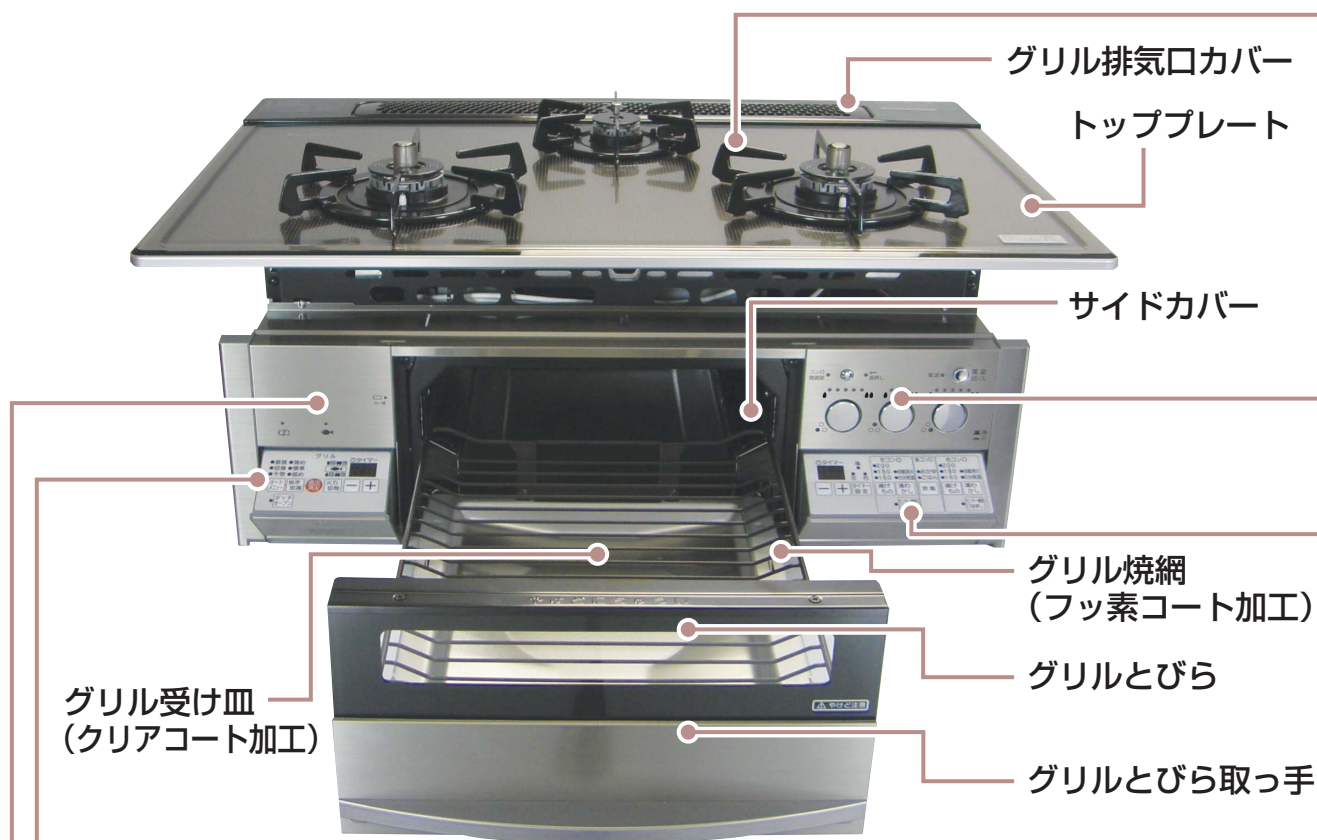
各部のなまえ

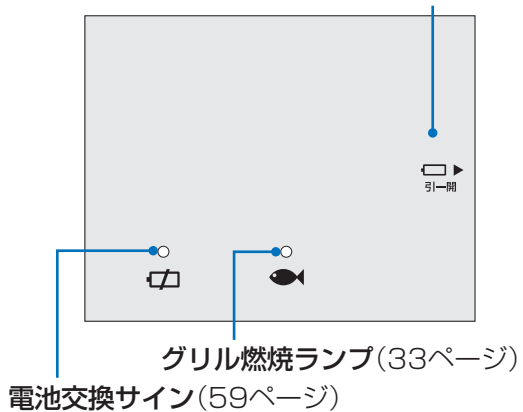
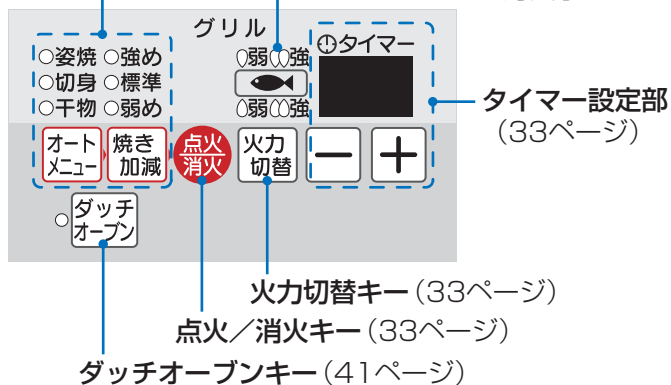
操作部の開けかた

(例)コンロ操作部の場合

◇電源について

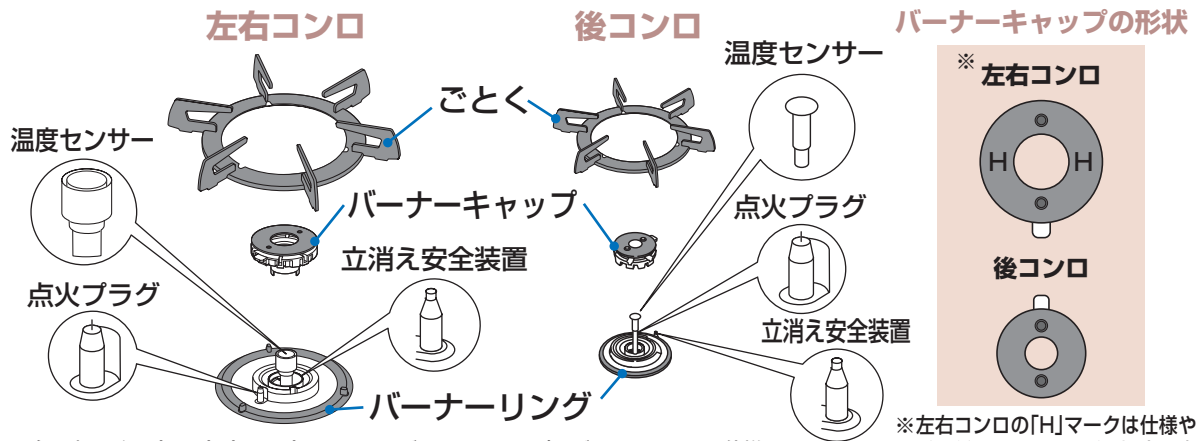
電源ボタンを押すことにより、機器の電源を入れたり切ったりすることができます。
（アルカリ乾電池(単1形：2本)を使用しています。）

◇オートパワーオフ機能

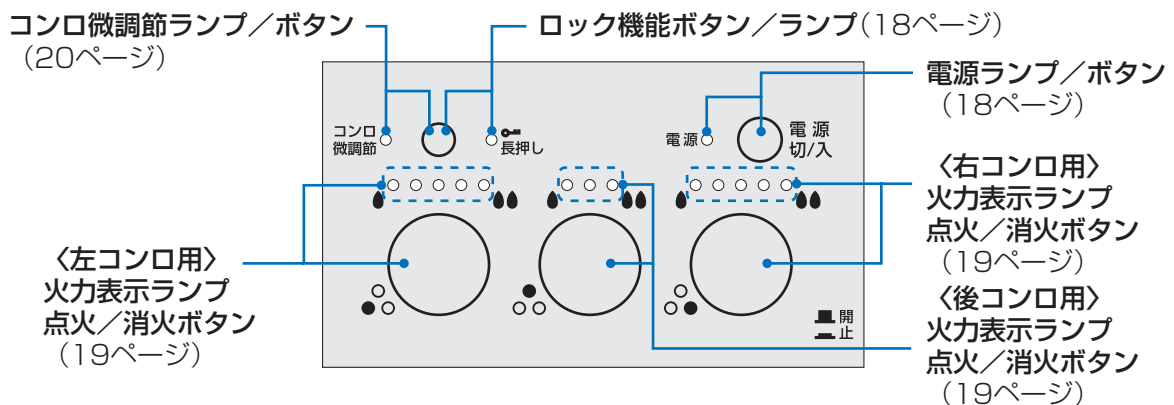
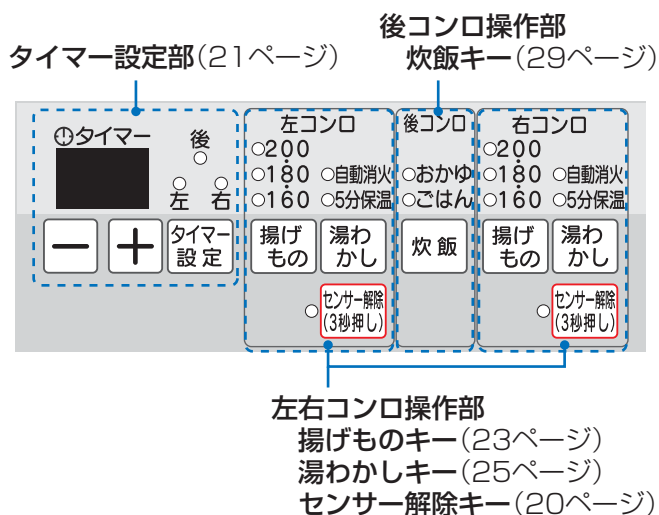
コンロやグリルを使用していないときは、約3分後に電源が自動的に切れます。
※オートパワーオフ機能の設定時間は変更することができます。(60ページ)

電池収納部

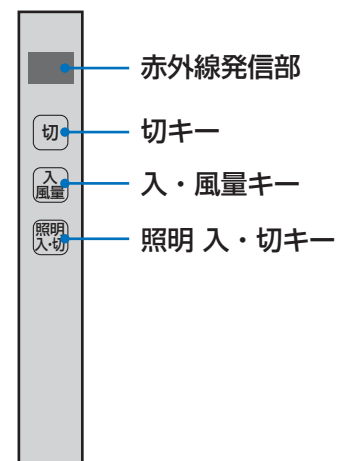
左パネル上面が電池ケースのふたになっています。

グリル操作部

品名コード	トッププレート（ガラス）		前面パネル	
例 ○○○○○○WA V6 ST○ トッププレート　前面パネル	V	ブラック	ST	ステンレス
	V5	ノーブルグレー		
	V6	グレー		
	V7	ブルー		
	VK	シルバーミラー		
	VY	ホワイト	WH	ホワイト
	VQ	ブラックミラー	GU	墨(グレー)
	V1	アッシュオレンジ	OR	ラストオレンジ

※操作部やパネルなどに保護シートが貼ってある場合があります。取りはずして使用してください。

コンロ調理部

※品名の末尾がST(STD)（STED)のごとくとバーナーキャップカバーは、ホーロー仕様です。
※品名の末尾がSTS(STSD)のごとくとバーナーキャップカバーは、ステンレス仕様です。

※左右コンロの「H」マークは仕様やガス種により、1ヶ所の場合や表示位置、大きさが異なります。

コンロ操作部（パネル）

コンロ操作部（シート）

レンジフード用操作部 (43ページ)

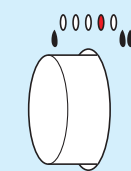
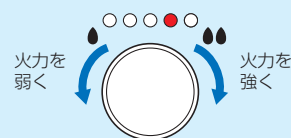
※○○○○○○WA○○STEDタイプのみ。

かんたん操作ガイド

電源を入れる

〈操作部(コンロ・グリル)の開けかたは、3ページを参照してください。〉

コンロ操作部

煮る、炒める
(全コンロ)　(左右コンロ)

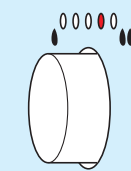
☞ 19 [準備 17]

①点火

②火力調節する

コンロ操作部

揚げる、焼く
(左右コンロ)

☞ 23 [準備 17]

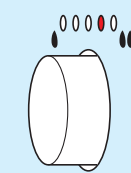
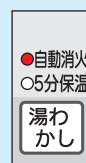
①点火

○200
●180
○160
揚げもの

②温度を設定する

コンロ操作部

お湯をわかす
(左右コンロ)

☞ 25 [準備 17]

①点火

●自動消火
○5分保温
湯わかし

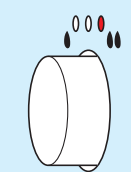
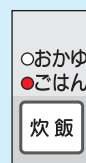
②湯わかしを設定する

コンロ操作部

ごはんを炊く
(後コンロ)

☞ 29 [準備 27]

①点火

○おかゆ
●ごはん
炊 飯

② 炊飯を設定する

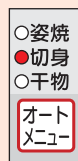
グリル操作部

オートグリルで
魚を焼く

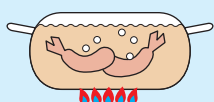
☞ 35 [準備 31]

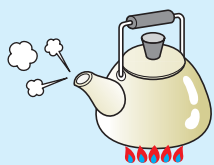
○姿焼
●切身
○干物
オートメニュー

①魚に合わせメニュー設定

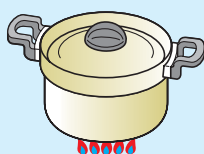
○強め
●標準
○弱め
焼き加減

②焼き加減を設定する

◇自動消火した場合は、必ず点火／消火ボタンを戻してください。

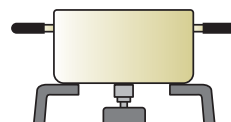
③調理が終了したら、
点火／消火ボタンを戻す

『ピピピッ』と鳴ったら
調理開始

③調理が終了したら、
点火／消火ボタンを戻す

『ピー』と鳴り
自動消火

[5分保温時]
『ピピピッ』で
お知らせ
火力「弱」
5分後自動消火

③点火／消火
ボタンを戻す

『ピピピッ』…自動消火
『ピー』…むらし終了

③点火／消火
ボタンを戻す

点火の際は…

・ごとく中央に鍋を置く
鍋をごとくに置かないと使用できません。

⚠警告

温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない

鍋底に密着しないときや汚れが付着しているときは、温度センサーが正しくはたらきません。

・調理油の量に関係なく調理油が発火し、火災の原因になります。
・焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。

③点火する

残り時間を表示
（例：9分）

『ピー』と鳴り
自動消火

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

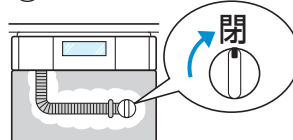
区分	内容
⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

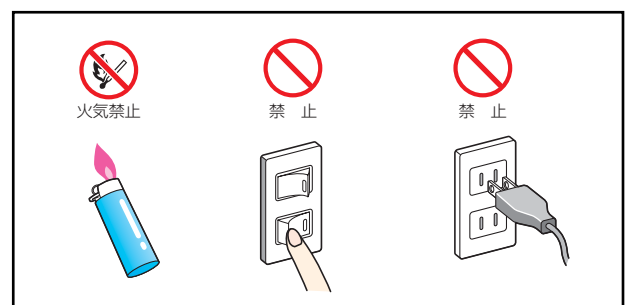
必ず守る	発火注意	換気する	
禁止	火気禁止	分解禁止	接触禁止

⚠危険 ガス漏れの際には

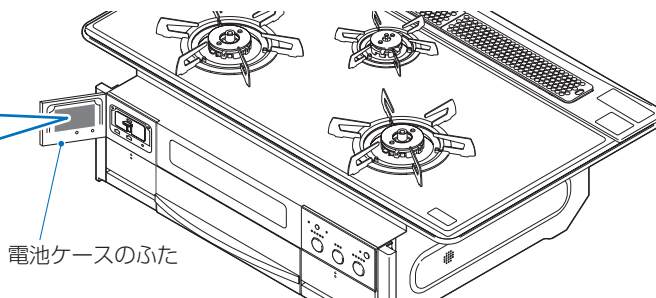
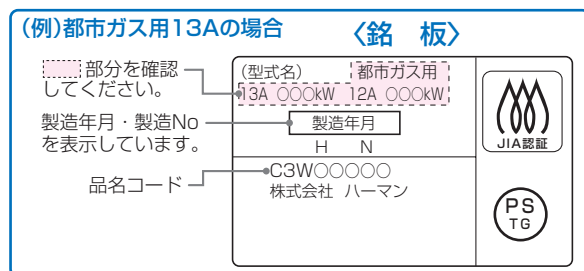
ガス漏れに気づいたときは、下記の手順に従う

①すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
③お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。

ガス漏れ時は、絶対に

- **火をつけない**
- **電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺で電話を使用しない**

火や火花で引火し、火災の原因になります。

⚠警告　使用するガスについて

銘板に表示しているガス（ガスグループ）で使用する

表示以外のガスで使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、機器が故障する原因になります。（電池ケースのふたの開けかたは、45ページを参照してください。）

⚠警告　火災予防のために

設置の際には

機器の設置（取り付け、取りはずし）・移転および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者に依頼する

ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です。

機器周囲の改装（吊り戸棚を付けるなど）については、お買い上げの販売店に相談する

ご自分で改装されると、設置基準上問題になる場合があり、火災の原因になります。

機器を設置するときは、可燃性の部分から十分離して設置する

当該地区の市・町・村の条例で定められています。必ず守ってください。

距離を確保できない場合は、別売の防熱板を取り付ける

防熱板を取り付けなかった場合、火災の原因になります。

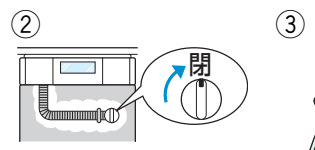
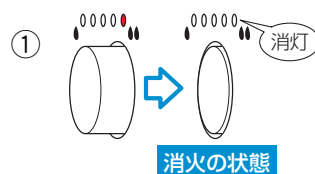
・離隔距離については16ページを参照してください。

※防熱板の購入は、お買い上げの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。

機器をご使用の際には

使用中に異常燃焼、異常音、臭気などを感じたときや地震、火災などの緊急の場合は、下記の手順に従う

①消火する。
　（点火／消火ボタンを「消火の状態」にする。）
　（グリルを使用している場合は、点火／消火キーを押す。）
②機器のガス栓を閉じる。
③お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。

使用後は消火を確認する

火災や思わぬ事故の原因になります。
※就寝や外出時は機器のガス栓も閉じてください。

必ずお守りください(安全上の注意) ②

⚠警告 火災予防のために

機器をご使用の際には

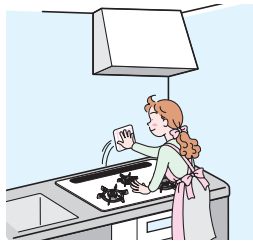
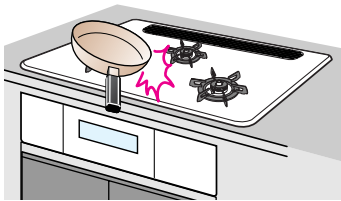
禁止

火をつけたまま離れない、就寝や外出をしない

料理中のものが焦げたり燃えたりするなど、火災の原因になります。
※とくに天ぷらや揚げもの調理、グリルを使用しているときは注意してください。
電話や来客の場合は、一旦火を消してください。

禁止

トッププレートに衝撃や荷重を加えない、上にのらない

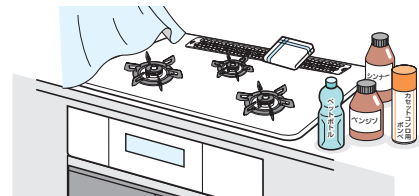
トッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。
※破損したときは、程度の大小に関係なく、すぐに修理を依頼してください。

禁止

引火のおそれのあるもの(スプレー、ガソリン、ベンジンなど)は機器の近くで使用しない

火災の原因になります。

禁止

燃えやすいものを機器の近くに置かない

機器の上や周囲に燃えやすいもの(ペットボトル、調理油など)、引火のおそれのあるもの(スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど)を置かないでください。
火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。

コンロ部をご使用の際には

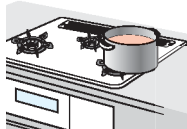
必ず守る

油料理をする場合は必ず200mL以上の油で調理する

調理油の量が減ってきたり、はじめから少ないと、天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油が発火し、火災の原因になります。

禁止

鍋などがトッププレートからはみ出した状態では使用しない

火災や機器焼損の原因になります。

発火注意

センサー解除モードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない

センサー解除モードでは、天ぷら油過熱防止機能の消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され発火し、火災の原因になります。(センサー解除モードについては、20ページを参照してください。)

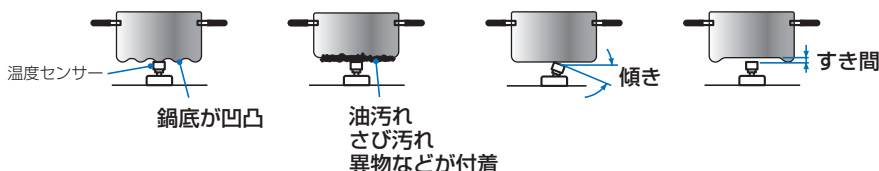
禁止

耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理しない

天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油が発火し、火災の原因になります。

禁止

温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない

鍋底に密着しないときや汚れが付着しているときは、温度センサーが正しくはたらきません。
- 調理油の量に関係なく調理油が発火し、火災の原因になります。
- 焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。

⚠警告 火災予防のために

コンロ部をご使用の際には

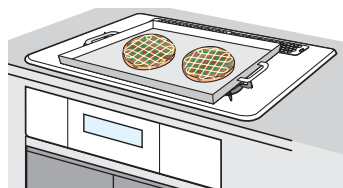
禁止

アルミはく製しる受け、省エネごとくなど指定以外の補助具は使わない

一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱により塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。

禁止

コンロをおおうような大きな鉄板や鍋は使わない

一酸化炭素中毒のおそれがあります。

グリル部をご使用の際には

必ず守る

グリル使用前はグリル庫内を点検する

グリル庫内に食品くず、油くず、布などがあると、使用中に発火し、火災や機器の損傷の原因になります。

必ず守る

グリル使用後および連続使用するときは、グリル受け皿にたまった脂を取り除く

たまった脂が発火し、火災や機器の損傷の原因になります。

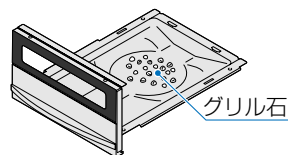
禁止

グリル排気口の上にふきんやタオルなどをのせない

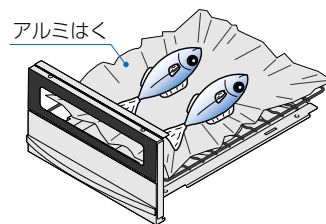
火災や不完全燃焼の原因になります。

禁止

グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない

たまった脂が発火し、火災や機器の損傷の原因になります。

発火注意

脂の出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上にたまった脂が発火し、火災や機器の損傷の原因になります。

点検の際には

分解禁止

絶対に改造・分解は行わない

改造・分解をすると一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。また、火災の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意) ③

⚠注意　火災予防のために

機器をご使用の際には

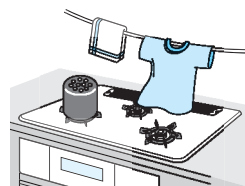
使用するバーナーの点火／消火ボタンを確認して操作する

間違って操作すると、別のバーナーが点火して、火災や思わぬ事故の原因になります。

点火したときはバーナーが着火したことを確認する

着火していないと、火災や一酸化炭素中毒、思わぬ事故の原因になります。

調理以外の用途には使用しない

練炭の火起こしや衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しないでください。過熱・異常燃焼による機器焼損や衣類などが落下して火災の原因になります。

グリル部をご使用の際には

魚などの焼きすぎに注意する

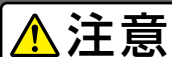
魚などが燃え、グリル排気口から炎が出ることがあり、火災の原因になります。

鶏肉やサンマなどの脂の多い食材を焼くと、飛び散った脂に引火して瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があるので注意する

やけどや火災などの原因になります。

グリル使用中、調理物が発火した場合は、下記の手順に従う

①点火／消火キーを押し、機器のバーナーを消火する。
②炎が消えるまでグリルとびらを開けない。
③消火後、お買い上げの販売店または、もよりの弊社に連絡する。

手順に従わなかった場合は、火災の原因になります。

⚠注意　ガス事故防止のために

設置の際には

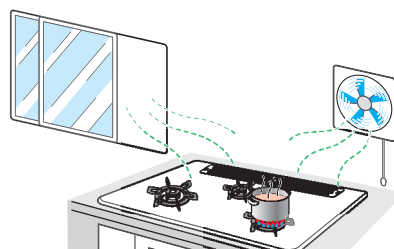
冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置していないことを確認する

火が途中で消えたり不完全燃焼の原因になります。

機器をご使用の際には

使用中は換気をする

使用中は窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。

※自然排気式給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと、排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。

お手入れの際には

バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る

水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼の原因になります。

⚠注意 やけどやけがの予防のために

機器をご使用の際には

点火操作をしても点火しない場合は、点火／消火ボタンを「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する

すぐに点火すると、周囲のガスに引火して衣服が燃えるなど、やけどの原因になります。

使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、やけどの原因になります。
※とくに小さなお子さまがいる家庭では注意してください。

コンロ使用中は、コンロの奥へ手を伸ばしたり、身体の一部や衣服がバーナーに触れないように注意する

やけどや衣服に炎が移ったりするおそれがあります。

点火操作時や使用中はバーナー付近に顔や手などを近づけない

炎や熱で顔や手など、やけどの原因になります。
※調理中に温度センサーが作動し、自動的に"弱火"⇔"強火"と炎の大きさが変化する場合があるため、やけどをするおそれがあります。

コンロ部をご使用の際には

やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強いとはみ出した炎によりやかんや鍋の取っ手などが過熱され、やけどや取っ手の焼損の原因になります。

片手鍋や底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない

- 片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
- 中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。
  不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる

強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）

突沸現象について

突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。直火でこれらを温めるときにも起きることがあります。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやケガをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。（強火で急に加熱しない。）
- 熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少しさましてから行う。
- 鍋の大きさにあった火力で加熱する。

必ずお守りください(安全上の注意)④

⚠注意 やけどやけがの予防のために

グリル部をご使用の際には

必ず守る

使用直後の魚の出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網を機器から取りはずさずに行う

グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、やけどの原因になります。

必ず守る

グリル受け皿を持ち運びするときは、冷えてから持ち運ぶ

使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、やけどの原因になります。また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。

禁 止

グリル受け皿に水を入れて使用しない

グリル機能が正しくはたらかなかったり、調理物が燃えるなどの原因になります。また、お湯がこぼれてやけどの原因にもなります。

禁 止

グリルとびらおよびグリルとびら取っ手に重いものをのせたり強い力を加えない

グリルとびらがはずれ、けがや機器損傷の原因になります。

禁 止

グリルとびらガラスに衝撃を加えたり(グリルとびらの落下も含む)キズをつけたりしない
また、使用中や使用直後に水をかけない

グリルとびらガラスが割れて、やけどやけがの原因になります。

禁 止

グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない
グリル受け皿を持つときは、ぬれぶきんなどで持たない

やけどの原因になります。

接触禁止

グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔などを近づけない
鍋の取っ手などが排気口にかからないようにする

高温の排気が出て、やけどや鍋の取っ手が破損する原因になります。

お手入れの際には

必ず守る

お手入れをするときは、機器が十分冷えてから、手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると、やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。

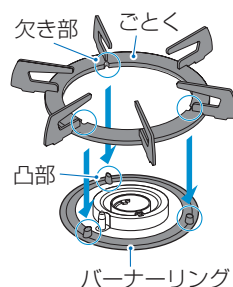
禁 止

トッププレートは取りはずさない

トッププレートを取りはずすと、裏面でけがをする原因になります。
また、ガラス裏面に洗剤や薬剤が付着すると、変色したりキズの原因になります。

必ず守る

ごとくは、欠き部をバーナーリングの凸部に合わせ、正しく取り付ける

正しく取り付けないとごとくが傾き、鍋の転倒によるやけどや、点火不良・不完全燃焼の原因になります。

⚠注意 機器損傷の予防のために

機器をご使用の際には

禁 止

トッププレートに直接高温の鍋などをのせない

トッププレートの変色や損傷の原因になります。

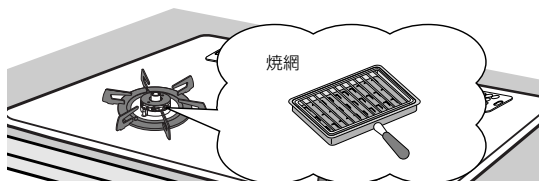
禁 止

ごとくをはずして直接コンロに鍋を置いて使用しない

不完全燃焼や機器焼損の原因になります。

禁 止

焼網は使用しない

異常過熱によりトッププレートや、塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。

⚠注意　機器損傷の予防のために

機器をご使用の際には

グリルとびらを開けたままグリルを使用しない

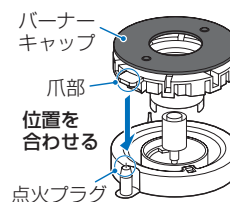
グリルとびらに魚などをはさみこむなど、グリルとびらが開いた状態では使用しないでください。
機器上部が変色したり、ワークトップを焦がす原因になります。

グリルとびら･グリルとびら取っ手・コンロ操作部・グリル操作部・電池ケースふたなどに、重いものをのせたり強い力を加えない

機器損傷の原因になります。

お手入れの際には

バーナーキャップは正しく取り付ける

正しく取り付けないと、点火しなかったり炎が不均一になり、
異常燃焼や部品が焼損、変形する原因になります。

⚠注意　お子さまに対する注意

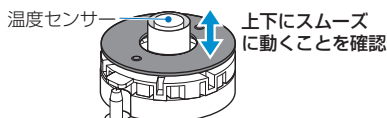
小さなお子さまだけで使用させない

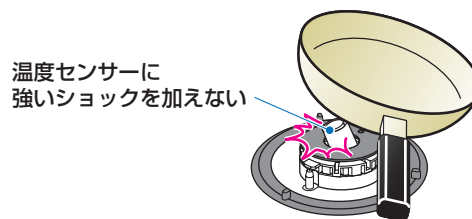
思わぬ事故の原因になります。
お子さまが触れても点火しないよう、ロックを設定することができます。（18ページ）

⚠注意　正常な動作のために

温度センサーが上下にスムーズに動くことを確認する
温度センサーのお手入れはこまめに行う（47ページ）

鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。
密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

温度センサー　上下にスムーズに動くことを確認

温度センサーに強いショックを加えたり、キズをつけない

鍋底に温度センサーが　密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。

⚠注意　ダッチオーブンについて（別売品）

ダッチオーブン使用直後に水をかけて急に冷やさない

ダッチオーブンの熱で水が蒸発して飛び散り、やけどの原因になります。

オーブン調理後、ダッチオーブンを食卓にのせる際は、必ず鍋敷きを敷く

ダッチオーブンの熱で食卓が焦げる原因になります。

ダッチオーブンを持ち運びする際は、鍋つかみを使用する

使用中、使用直後は、ダッチオーブンが高温になっているため、やけどの原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)

お願い

機器について

■ **この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをすると、機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。**

■ **長時間使用していなかったり、初めて使用するときは、配管内に空気が入っていて点火しにくい場合があります。**
しばらく待ってから、再度点火してください。

■ **長期間使用しない場合は・・・**
- 機器のガス栓を閉じてください。
- 各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
再使用時は、完全に取りはずしてください。
- 乾電池を電池ケースより抜いてください。
乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

■ **機器を廃棄する場合は・・・**
- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

お手入れについて

■ **機器や機器周辺(システムキッチンの天板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしないでください。また、ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用してください。**
機器内部に水が浸入し、故障の原因になります。

グリルのご使用について

■ **連続で使用する場合は一旦火を消し、再度点火してください。**
グリル庫内が高温になっていると、グリル過熱防止センサー(52ページ)がはたらいて、焼き上がる前に消火する場合があります。

■ **魚などの焼き加減を見るときなど、グリル受け皿を約1分以上引き出したままにする場合は、一旦火を消してください。**
グリル過熱防止センサー(52ページ)がはたらいて、消火する場合があります。

■ **冷蔵庫から出した冷たいままの魚などは、常温でしばらくおいてから焼いてください。**
また、冷凍された魚などは、完全に解凍してから焼いてください。
中心部まで十分に火が通らず、焼き上がりがよくない場合や、生焼け状態になる場合があります。

機器のご使用について

■ **使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。**

■ **トッププレート上で、鍋などをすべらせたりしないでください。**
トッププレートや鍋が損傷する原因になります。

■ **機器の下にオーブンを設置して使用している場合、オーブンのとびらを半開きのままで使用しないでください。**
やけどや過熱による変形などの原因になります。

■ **トッププレート上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。**
磁力線により、機器が故障する原因になります。

コンロのご使用について

■ **エアコン、扇風機の風などがコンロの炎にあたらないように配慮して使用してください。**
温度センサーにより鍋底の温度を検知して火力を制御するため、風があたると温度センサーが正しくはたらかない場合があり、火が途中で消えたり不完全燃焼の原因になります。

■ **鍋の重さは温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)にしてください。**
とくに片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。

■ **弱火のときは炎が見えにくい場合があります。**
消し忘れに注意してください。

■ **調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。**
火を消さずに作業をすると、やけどの原因になります。また、鍋をのせかえたりコンロから鍋をはずされている時間が長く続くと、弱火になったり、自動消火したり、温度センサーが正しくはたらかない場合があります。

■ **コンロを弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをゆっくり開閉してください。**
キャビネットとびらやグリルとびらの開閉により発生した風で、コンロの火が消える場合があります。

■ **強火で長時間使用すると、まれに鍋とごとくがくっつくことがあります。(ごとくがステンレス仕様以外の場合)**
鍋を動かすときは注意してください。

■ **煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。**
機器の内部に煮汁が浸入すると、故障の原因になります。また、バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、機器焼損の原因になります。

周囲の防火措置（機器の設置）について

■機器の設置・移転および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者に依頼し安全な位置に正しく設置してください。

防火上の離隔距離

◎機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
◎この機器は防火性能評定品です。

⚠警告

周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する
離隔距離が少ないと、火災の原因になります。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、下表に基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合

60cm幅タイプ

75cm幅タイプ

防火性能評定シール
（トッププレートに貼付）

レンジフードおよび不燃材の場合

※（　）内は、周囲の壁が不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

A寸法
60cm幅タイプ：15cm以上
75cm幅タイプ：7.5cm以上

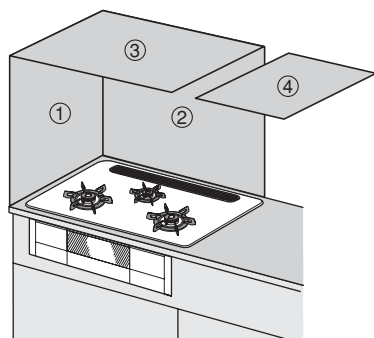
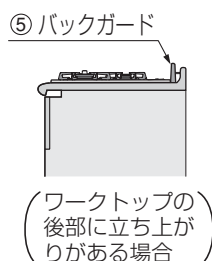
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

◎離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。

⚠注意

防熱板（別売品）は、必ず指定のものを使用する
防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、火災の原因になります。

・防熱板は60cm幅タイプは4種類、75cm幅は5種類用意しています。
・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は別売の防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に連絡してください。

※イラストはイメージ図です。

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)	備　考
①	DP0128	590	535	共用
②	LP0130	590	600	60cm幅タイプ用
	LP0131		750	75cm幅タイプ用
③	DP0129	550	900	共用
④	LP0117	550	150	75cm幅タイプ用
⑤	DP0101	90	600	60cm幅タイプ用
	DP0104		750	75cm幅タイプ用

コンロを使う準備

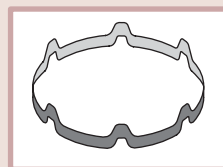
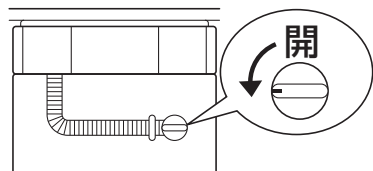
鍋の選びかた

鍋などの種類	煮ものなど	炒めもの油料理など（※5 油の量：200mL以上）	温調機能		
			揚げもの ☞23（油の量：500mL〜1000mL）	湯わかし ☞25（水の量：500mL〜2000mL）	炊飯 ☞27（ごはん：1〜3合 おかゆ：0.5〜1合）
アルミ製の鍋・文化鍋	○	○	○	○ ※2	○ 深めのもの
ホーロー・打ち出し・ステンレス（厚手）の鍋	○	○	○	○ ※2	○ ※4 深めのもの
ステンレス（薄手：鍋底厚み2mm未満）の鍋	○ ※3	×	×	○ ※2	○ ※3 深めのもの
無水鍋（ステンレス厚手鍋）	○ ※1	○	×	○ ※2	×
鉄製の鍋・中華鍋・フライパン	○	○	○ ※6	×	×
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器	○ ※1	×	×	×	×
やかん	−	−	−	○ ※2	−

○：適しています。　×：適していません。（温度を正しく検知しない場合があります。）
※1：途中消火したり、焦げつく場合があります。
　　センサー解除モード（20ページ）にすると途中消火せず使用できます。
　　（焦げつき自動消火機能がはたらかないため、焦げつきがきつくなりますので注意してください。）
※2：必ずふたをしてください。
※3：焦げつきがきつくなります。
※4：ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。
※5：油料理の場合の油の量を示します。
※6：中華鍋は底の平らな中華鍋を使用してください。

中華鍋について

◇鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
◇中華鍋の種類や使いかたによっては鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。
　このようなときは、別売の中華鍋用補助ごとくを使用すると鍋が安定して使いやすくなります。
※中華鍋によっては別売の中華鍋用補助ごとくを使用すると、温度センサーに密着しないものがあります。
※中華鍋を煙が出るまで予熱する場合は、左右コンロのセンサー解除モード（20ページ）を使用してください。

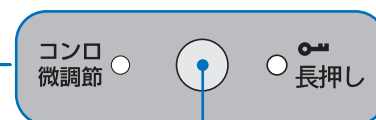
中華鍋用補助ごとく（別売部品）

❶ 機器のガス栓を全開にする

❷ ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

・鍋などをごとくに置いていないと点火しません。
・点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

❸ 電源ボタンを押す

点灯
電源
電 源
切/入
ピッ

コンロ
微調節
長押し

コンロ微調節／ロック機能ボタン

ロック機能 小さなお子さまのいたずらや誤作動を防止するために、操作をロックすることができます。

◇電源が入っている状態で使用していないときに、ロック機能ボタンを**3秒以上押す**ことでロックの設定／解除ができます。

◎ロックの設定

◎ロックの解除

※ロック状態で電源を切っても(オートパワーオフしても)、ロックは解除されません。

コンロの使いかた

準　備

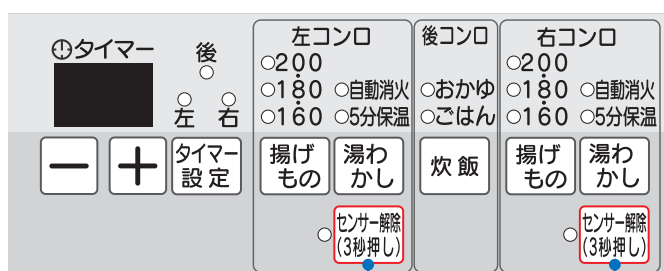
基本操作
（全コンロ）

ごとく中央に鍋などを置く

コンロ微調節ボタン

❶❷❸

コンロ操作部（シート）

タイマー
後
左　右
－　＋　タイマー設定
左コンロ
○200
○180　○自動消火
○160　○5分保温
揚げもの　湯わかし
センサー解除（3秒押し）
後コンロ
○おかゆ
○ごはん
炊飯
右コンロ
○200
○180　○自動消火
○160　○5分保温
揚げもの　湯わかし
センサー解除（3秒押し）

センサー解除キー

調理をするときのお願い

⚠注意

必ず守る

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）
※突沸現象については、12ページを参照してください。

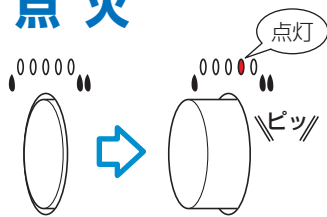
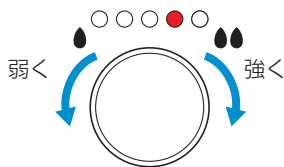
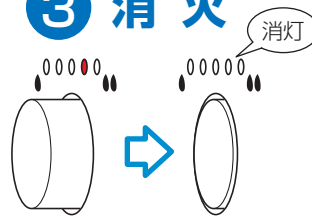
◇炒めもの（野菜炒めなど）、焼きもの（目玉焼き、ハンバーグなど）をする場合は、1分程度予熱する。
・予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。

1分程度
予熱する

◇きんぴらごぼう・インスタント焼きそばなどは、左右コンロのセンサー解除モードで調理する。
・水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

◇揚げものは左右コンロの揚げものモードで調理する。
・揚げものモードを使わずに多めの油を過熱すると、機器が煮もの調理と判断し、低い温度で自動消火することがあります。

❶ 点 火

❷ 火力調節

点火後約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。

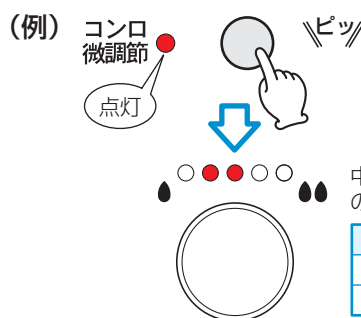
❸ 消 火

120分間連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
自動消火した後、必ず点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。
※自動消火する時間は変更できます。(60ページ)

点火後、火力を微調節したいときは

◇点火後（コンロ点火／消火ボタンの上にある）コンロ微調節ボタンを押し、火力調節すると、火力をさらにこまかく調節することができます。
※すべてのコンロが火力微調節状態になります。

◇コンロ微調節ボタンを再度押すか、すべてのバーナーを消火すると、火力微調節状態は解除されます。

（例）

中間火力状態のときは、2ヶ所のランプが点灯します。

コンロ	通常	微調節
左・右	5段階	37段階
小	3段階	19段階

直火料理（あぶりもの）、いりもの料理、炒めものをしたいときは（左右コンロのみ）

◇直火料理（あぶりもの）や、いりもの料理、炒めものをしたいときは、センサー解除モードにしてください。

センサー解除モードとは

・安全機能（焦げつき自動消火機能・天ぷら油過熱防止機能・鍋なし検知：51～52ページ）を一時的に作動させない（解除する）モードです。
・直火料理（あぶりもの）や、いりもの料理、炒めもの（鍋をひんぱんに上げる料理）をする場合などにセンサー解除モードをお使いください。
※温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、ガスを止め、消火したりすることがあります。

・左右コンロ点火後、

を3秒以上押してください。

※消火するか、センサー解除(3秒押し)を再度押すと、センサー解除モードは取り消されます。

最長60分間連続使用すると、安全機能により自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間(60ページ)により、連続使用可能時間は異なります。

⚠警告

センサー解除モードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
センサー解除モードでは、天ぷら油過熱防止機能の消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され発火し、火災の原因になります。

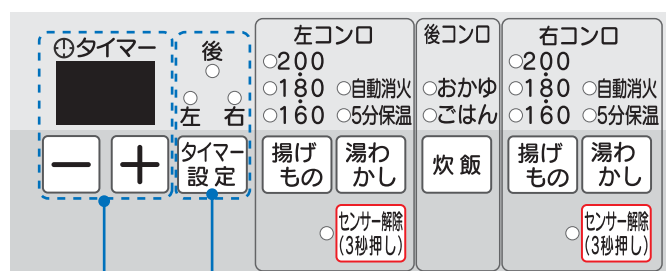
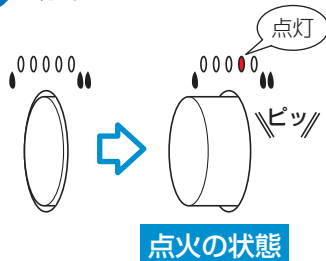
準　備

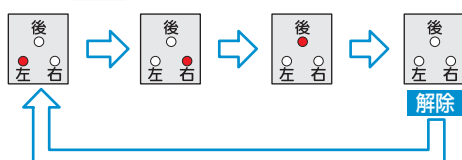
ごとく中央に鍋などを置く

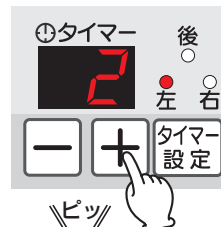
基本操作
（全コンロ）

コンロ操作部（シート）

❶ ❹

❸ ❷

① 点 火

② コンロを選択する

タイマー設定 を押す毎に切り替わります。

※設定できるコンロは1ヶ所です。
※＋・－ を押すか、約10秒たつと、タイマー表示が点灯に変わり、コンロが決定されます。
※火のついていないコンロと、炊飯・湯わかしモード中のコンロは選択できません。

③ タイマー設定

1～99分
（1分刻み）
押し続けると、10分刻みで変わります。

タイマーが作動中でも、タイマーの変更は可能です。

コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更した場合は、センサー解除モード使用時の連続使用最長可能時間も変わります。

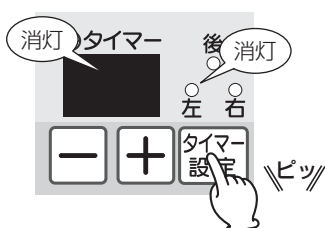
（60ページ）

自動消火（タイマー終了）

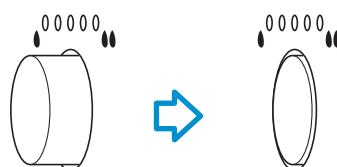
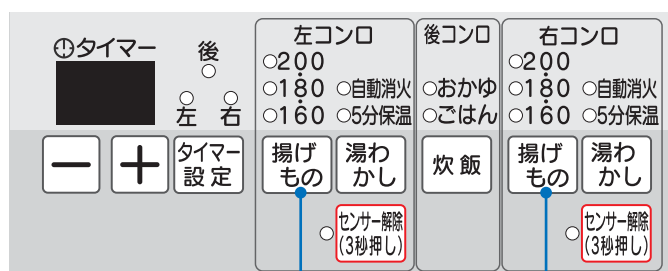
ブザー音『ピー』とタイマー表示とランプの点滅でお知らせした後、消灯します。

④ 点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻す

タイマーモードの取り消し

タイマーモード中に タイマー設定 を押すと、タイマー表示とランプが消え、タイマーモードが解除されます。

※タイマーモードを解除しても消火しません。

揚げものモード

準　備

ごとく中央に鍋などを置く

適した鍋

直径：18～24 cm
種類：天ぷら鍋
　　　底の平らな中華鍋
　　　鉄やアルミ製の鍋

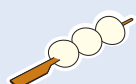
適した油の量

500～1000mL

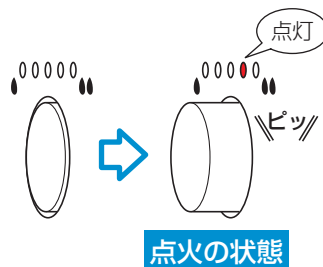
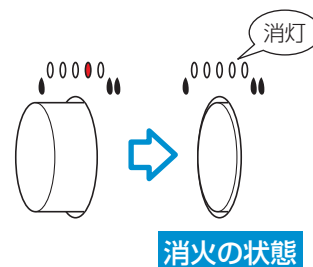
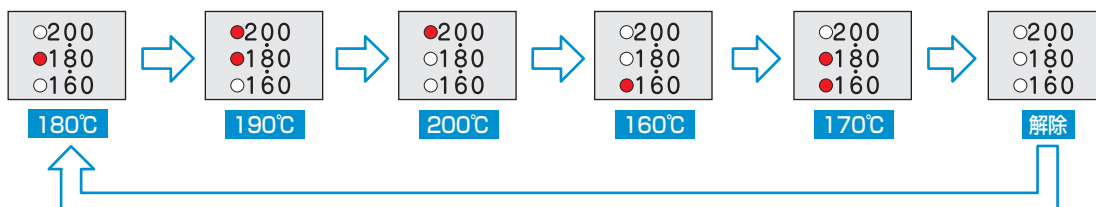
コンロ操作部(シート)

基本操作（左右コンロ）

揚げもののコツ

◇油の飛び散りやすい材料は下ごしらえをする。
（水分や空気は、加熱されると膨張して破裂するため。）

◇複数の揚げものをするときは、低温設定のものから調理する。
（温度を下げるのに時間がかかるため。）
◇一度に揚げる量は、油の表面積の半分程度にする。

焼きものにも便利

◇ハンバーグやギョーザ、ホットケーキなど焦げつきやすい焼きものも、揚げものモードの温度調節を使えば簡単。
ほどよい焦げ色に焼きあげます。

・点火する前にも設定できます。
・自動的に強火と弱火を繰り返し、設定した温度を保ちます。
・弱火から強火に切り替わる一瞬、炎が大きくなりますので注意してください。
・途中で設定温度を変更する場合は、揚げもの を押してお好みの温度に合わせてください。
※温度設定を解除しても消火しません。

温度設定のめやす

		160℃	170℃	180℃	190℃	200℃
揚げもの	クルトン				●	●
	手作りコロッケ			●	●	
	冷凍食品(コロッケなど)・天ぷら		●	●	●	
	とりのからあげ・フライ・とんかつ	●	●	●		
	ドーナツ・フリッター	●	●			
焼きもの	ギョーザ・お好み焼き	●	●	●		
	ホットケーキ・オムレツ・ハンバーグ	●				

ご注意

◇油の温度は天ぷら用鉄製鍋を基準に設定しています。鍋の種類・材質・大きさや厚み、油量などにより、設定温度と異なったり温度変化が大きくなることがあります。

◇油の温度が高い状態で温度設定したり途中で油をたすと、設定温度と油の温度がずれることがあります。

◇設定温度になっても調理物を入れないと、設定温度より調理油の温度が上昇することがあります。

◇焼きものの焦げの程度はフライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。

湯わかしモード

準　備

ごとく中央にやかんを置く

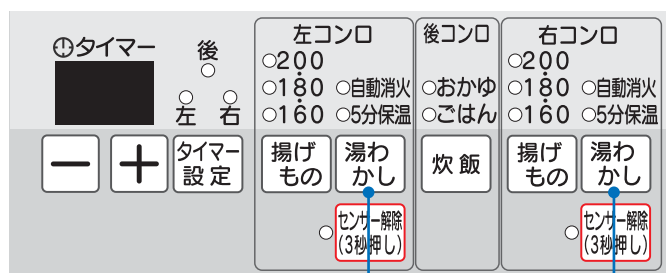
適した鍋

種類：やかん
　　　底の平らな鍋

適した水量

500〜2000mL
・やかんや鍋の大きさに応じた水量にしてください。

コンロ操作部（シート）

基本操作
（左右コンロ）

お願い

◇火力はやかんや鍋の径に応じて炎があふれない程度に調節してください。ただし、火力を弱火で使用しますとふっとうする前に保温になったり、消火したりします。また、お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。
※やかんや鍋の材質、水量、形状などにより消火や弱火になるタイミングが異なる場合があります。
◇水量が多すぎるとふきこぼれる場合がありますので、やけどなどにご注意ください。

ー温度センサーが正しくはたらくために次のことを守ってくださいー

◇やかんや鍋のふたの開閉はしない
◇やかんや鍋を動かさない
◇水をかき混ぜない
◇途中で水を入れたり具を入れない
◇途中で火力を変えない

❶ 点 火

点灯

ピッ

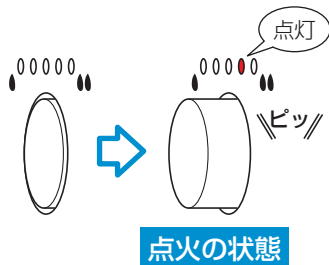
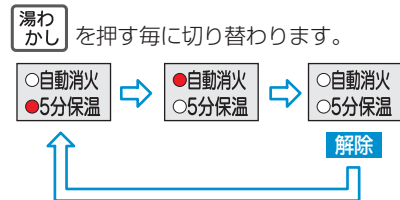
点火の状態

❷ 湯わかし設定
〈着火後すぐ〉

点灯
○自動消火
●5分保温
湯わかし

ピッ

湯わかしを押す毎に切り替わります。

○自動消火 ●5分保温 ⇨ ●自動消火 ○5分保温 ⇨ ○自動消火 ○5分保温 解除

・点火する前にも設定できます。
※湯わかしモードを解除しても消火しません。

湯わかし5分保温の場合

お湯がわくと ブザー音『ピピピッ』でお知らせし、自動的に弱火になり、5分間保温した後自動的に消火します。

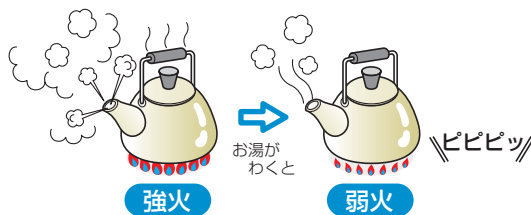
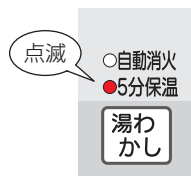
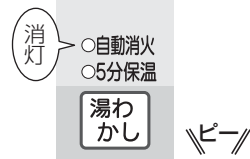
強火 ⇨ お湯がわくと 弱火 ピピピッ

終了2分前

点滅
○自動消火
●5分保温
湯わかし

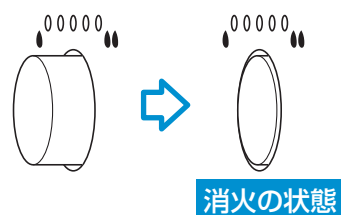
自動消火

消灯
○自動消火
○5分保温
湯わかし

ピー

ブザー音『ピー』でお知らせし、設定ランプおよび、火力表示ランプが消灯します。

❸ 点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻す

消火の状態

炊飯モード 下準備

① お米をはかる

◇計量カップやはかりで炊飯したいお米の量を正しくはかる。

お米と水の量のめやす

［ごはん］

お米の量	水の量
1.0合(150g)(180mL)	約300mL
1.5合(225g)(270mL)	約400mL
2.0合(300g)(360mL)	約500mL
2.5合(375g)(450mL)	約600mL
3.0合(450g)(540mL)	約700mL

［おかゆ］

お米の量	水の量
0.5合(75g)(90mL)	約700mL
1.0合(150g)(180mL)	約1000mL

※炊き込みごはんの場合は、ごはんに比べ約1割増の水の量(調味料、だしを含む)とし、具はお米の上にのせて炊いてください。
※おかゆは七分がゆ程度の炊きあがりです。

② お米をとぐ

◇たっぷりの水でさっとかき混ぜ、水を素早く捨てる。
一度目のとぎ水はすぐに流す。
(ぬかを含んだ最初のとぎ水を乾いたお米が吸わないようにする。)
「とぐ→洗い流す」を素早く数回繰り返し、洗ってください。
※といだ後のお米は、よく水を切ってください。
※といだ後、すぐに炊飯をするとごはんがかためになります。

③ お米に水を含ませる

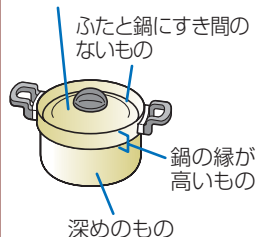
◇水の量は、① を参考にしてください。

ごはんのかたさを調節するときは、水量で調節してください。
(増減する水量のめやすは±10%程度までに)

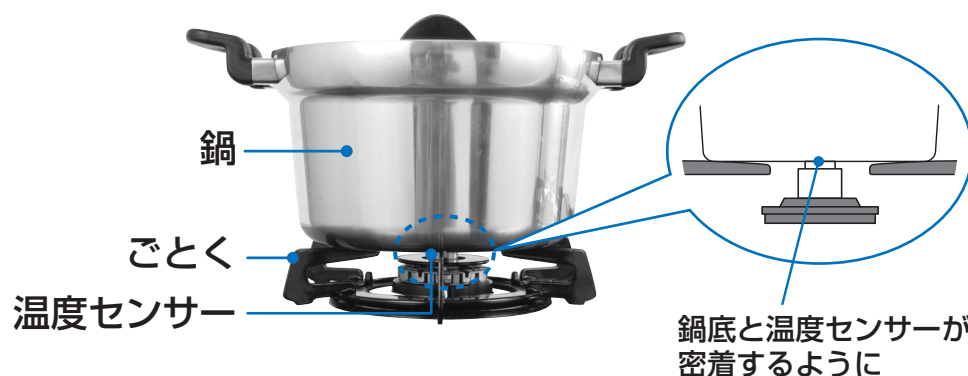
※炊き上がりはお米の種類や質、鍋の種類や水温などによって異なりますので、お好みに応じて工夫してお使いください。
◇30分程度浸し、水を含ませる。(冬場は1時間程度)
※お湯を使わないでください。(ごはんに芯が残ります。)

④ 鍋のセット

適した鍋

鍋径：18cm以上
種類：アルミ製の鍋

◇炊飯専用鍋を別売しています。（64ページ）

◇水に浸したお米の入った鍋にふたをして、正しくセットしてください。

※温度センサーの上面や、鍋底に異物がないことを確認し、鍋底の中心が温度センサーに密着するように正しくセットしてください。

◇市販の文化鍋でも炊くことができます。（17ページ）

鍋の材質・形状によっては焦げつきや、ふきこぼれなど、うまく炊けない場合があります。
ガラス鍋や土鍋ではうまく炊けないため使用しないでください。

※別売の炊飯専用鍋のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。

ご注意

◇お米のとぎが足りない場合は、においや着色および、ふきこぼれの原因になります。
◇お米をといだ後、すぐに炊飯をするとごはんがかためになります。
◇砕け米・粉米などが混ざった状態で炊飯すると、炊きムラや焦げの原因になります。
（一度水に浸したお米は砕けやすくなります。）

無洗米を炊くポイント

◇1～2回すすぐ。
にごったまま炊飯すると、でんぷん質が沈殿し、上手に炊けない原因になります。
◇十分に水に浸す。
◇水の量を3％程度多くする。または、無洗米専用の計量カップを使う。
◇よく混ぜて気泡をとばす。
水を加えただけでは、表面に気泡ができ、水が吸収されず上手に炊けない原因になります。

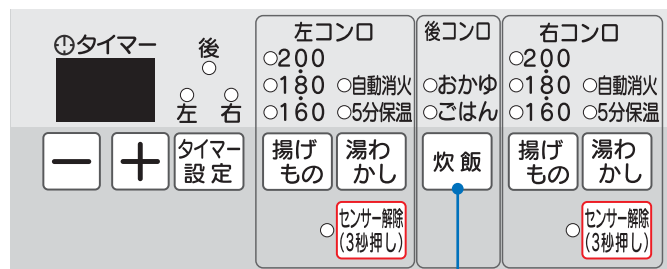
炊飯モード

準　備

ごとく中央に鍋を置く

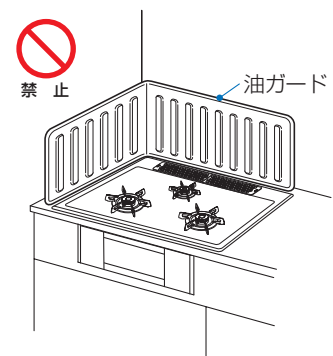
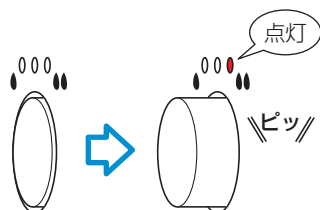
❶❸

基本操作
（後コンロ）

❷

ご注意

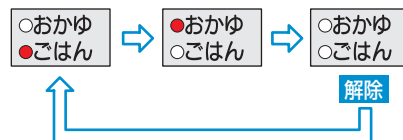
◇炊飯途中で、水をたしたり、鍋のふたを開けたりしないでください。また、炊飯モード使用中に消火してしまった場合などは、再度 炊飯 を押さないでください。うまく炊けない場合があります。
　ごはんの場合は消火後むらし(約10分)を必要とします。むらしをしないとうまく炊きあがりません。

◇機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わるため、燃焼不良となり、炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードなどを取り除いてください。

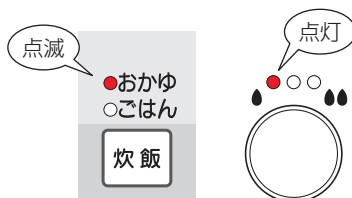
❶ 点 火

点火の状態

❷ 炊飯設定
〈着火後すぐ〉

炊 飯 を押す毎に切り替わります。

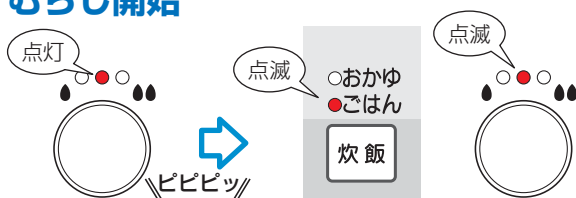
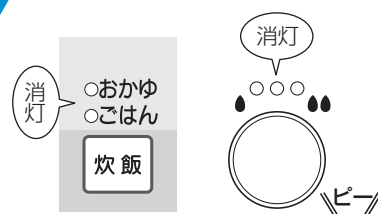
解除

・炊飯中は自動的に火力を切り替えます。
・弱火から中火に切り替わる一瞬、炎が大きくなりますので注意してください。
・点火する前にも設定できます。
※炊飯設定を解除しても消火しません。

おかゆの場合

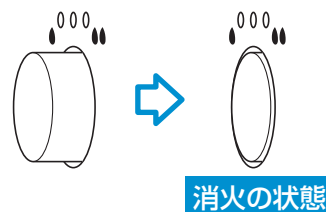
終了2分前

炊飯時間のめやす
ごはん：約20分
おかゆ：約45分

自動消火

ごはんの場合

自動消火後むらし開始　**むらし終了2分前**

ごはんむらし：約10分
※むらしが終わるまで、ふたを開けないでください。

ブザー音『ピー』と設定ランプおよび、火力表示ランプが消灯します。

❸ 点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻す

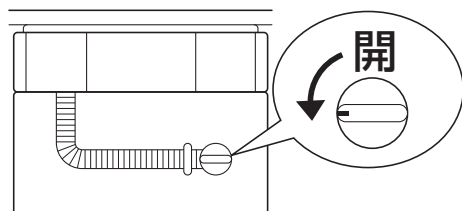
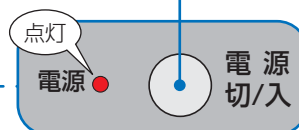
消火の状態

※むらし後、ごはんをほぐしながら底からよくかき混ぜてください。
余分な水分が逃げ、ごはんがおいしくなります。

おかゆについて

◇**おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。**
ごはんからおかゆをつくる場合は下記を参考にしてください。
◇味付けは、おかゆが炊きあがり、自動消火してからしてください。

ごはんからおかゆの炊きかた

◇**2人分(茶わん約2杯分：300g)の例**
①冷やごはんはザルに入れ、流水でサッと洗ってほぐす。（ぬめりをとります。）
②鍋に水(4カップ強)とごはんを入れ強火で炊く。
③煮たったらアクをとり、弱火で10～15分炊く。
④消火し、好みに応じて塩を少々加え、数回かき混ぜてできあがり。

グリルを使う準備

❶ 機器のガス栓を全開にする

はじめてグリルを使うとき

◇初めてグリルを使うときは、グリル庫内の油を焼ききるために、グリル焼網を取り出し約8分空焼きしてください。（煙やにおいが出ることがあります。）

※空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、消火する場合があります。
（タイマー表示部「02」点滅表示）
消火した場合は、少し待ってから再度点火してください。

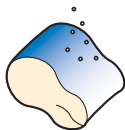
食材の準備

魚の下ごしらえ

- **冷凍の魚**
  ・完全に解凍する
- **冷蔵の魚**
  ・常温でしばらくおく
- **生魚**
  ・水洗いしたあと、水気をよくふき取る
- **みそ漬けやかす漬けの魚**
  ・みそやかすをよくふき取る

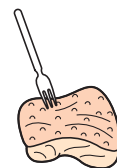
塩焼きの下ごしらえ

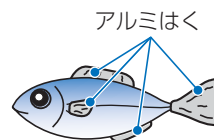
◇鮮度や材料にあった塩加減(魚の重量の2%程度)が必要です。
塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。

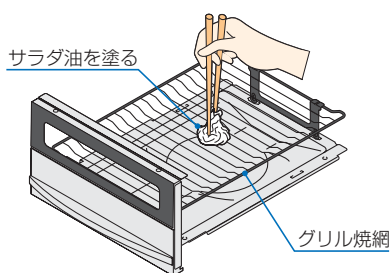
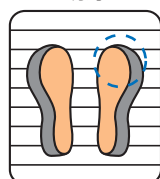
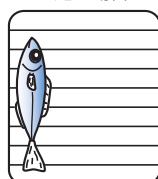
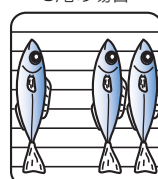
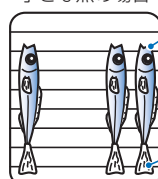
- **さばやいわしなど脂肪分の多い背の青い魚**
  ・多めに塩をして、おき時間は長めにする

- **白身魚**
  ・少なめに塩をして、おき時間は短めにする
- **川魚やいか、えび、貝など**
  ・焼く直前に塩をふる

魚以外の下ごしらえ

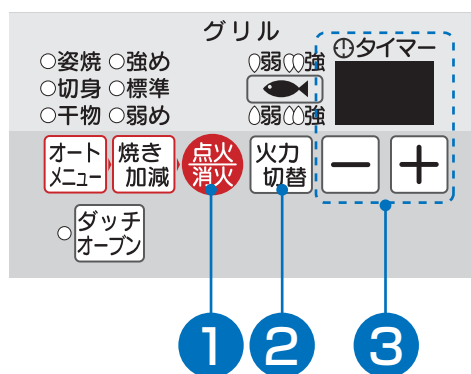
- **なすやししとうなどの野菜**
  ・表面に切り目を入れる

- **鶏肉など脂の多い食材**
  ・フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く

姿焼きなどの場合

◇尾やヒレはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけてください。
また、アルミはくで包んでおくと、焦げかたが薄くなります。

魚を焼くときは

◇グリル焼網にサラダ油などを塗ると、こびり付きなどが少なくなります。
◇魚は身の厚い部分や、頭を奥にして置いてください。
◇魚を1尾だけ焼く場合は、左右どちらか端に置いてください。
◇魚を3尾以上焼く場合は、まん中を避け、左右どちらかに寄せて置いてください。
◇ししゃもなどの小さな魚は、尾が焦げやすいのでグリル焼網の手前側に置いてください。

詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。

グリルの使いかた：マニュアルグリル

基本操作
（グリル）

⚠警告

必ず守る

鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、上下の火力を『弱』にして焼くようにする

グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

焼きすぎに注意する

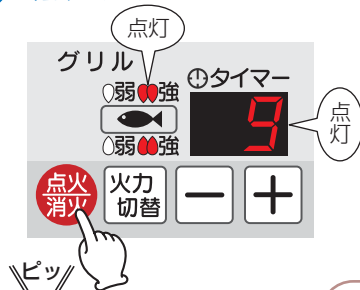
魚に火がつき火災の原因になります。グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、すぐに点火／消火キーを押して消火してください。

コツ

◇形くずれを防止するには・・・

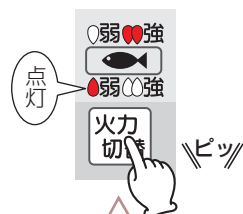
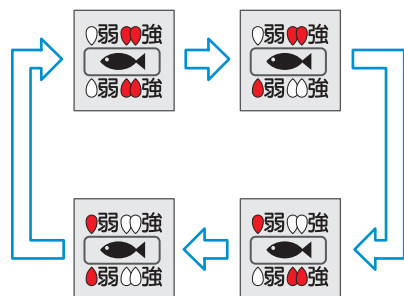
・2分程度予熱し、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。
・予熱後一旦消火し、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してタイマーを設定してください。

詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。

❶ 点 火

グリルが点火後、タイマーがスタートします。

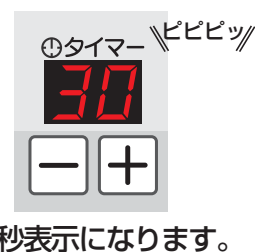
グリル庫内温度	タイマー
高い場合	6分
低い場合	9分

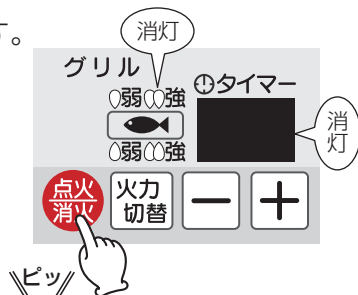
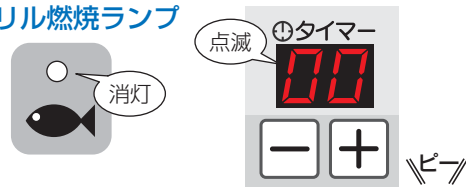
グリル燃焼ランプ

❷ 火力調節

❸ タイマー設定

タイマーが作動中でも、タイマーの変更は可能です。
(連続使用最長可能時間は18分です。)

終了30秒前

秒表示になります。

途中で消火したい場合

グリル操作部の 点火消火 を押す。

自動消火(タイマー終了)

グリル燃焼ランプが消灯し、ブザー音『ピー』とタイマー表示部点滅でお知らせした後、タイマー表示部が消灯します。

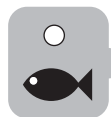
グリルタイマーについて

◇グリルが点火すると、自動的にグリルタイマーがスタートします。
・グリル庫内の温度に応じて、タイマー設定6〜9分を自動的に設定します。
※タイマー表示は切り上げ表示になっていますので、初期設定時間がすぐに変わる場合があります。

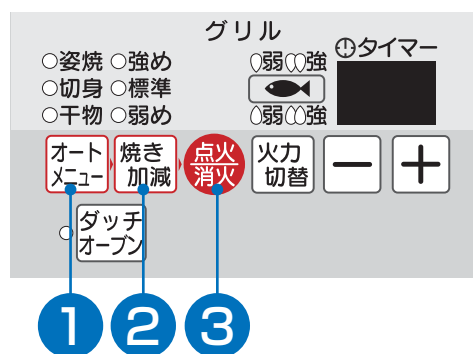
ご注意

・グリル庫内が高温になると、安全のため自動的に消火します。
　グリル過熱防止センサーがはたらき、消火した場合(タイマー表示部「02」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。
・脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。
・グリル操作部のタイマーは、グリル専用タイマーのためコンロには使用できません。
・干物や脂分の多い魚(にしん・塩さばなど)は発火しやすいので、焼きすぎに注意してください。(調理中はグリル庫内の状態に十分注意してください。)また、小魚の干物(めざし・うるめなど)の焼き時間のめやすは2〜3分です。(グリル庫内の温度が高い場合は1分程度。)焼きすぎに注意してください。
　焼きすぎた場合、魚やたまった脂が燃えて、火災のおそれや機器焼損の原因になります。

オートグリルモード

準　備

基本操作
（グリル）

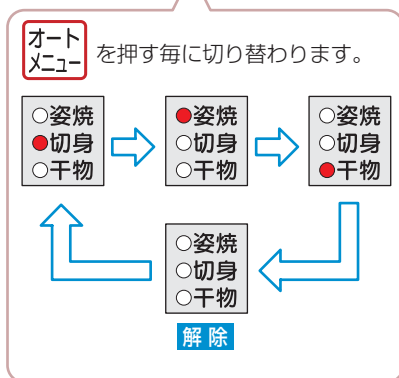
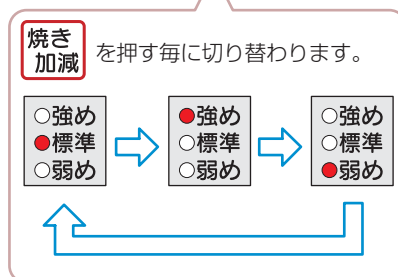
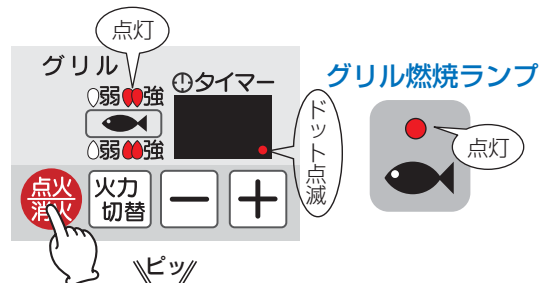
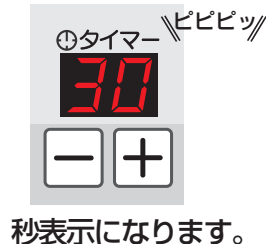
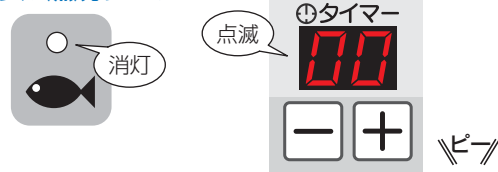
グリル操作部（シート）

⚠注意

- **魚などの焼きかたが浅い場合や、焼き足したい場合はマニュアルグリル（33ページ）で焼く**
  その場合、設定時間を短くして焼きすぎに注意してください。
  焼きすぎた場合、調理物の脂が燃えて、火災のおそれや機器焼損の原因になります。
- **みりん干し・めざし・市販のみりんづけ・うるめいわしの丸干し・身欠きにしんは、マニュアルグリルで焼き、オートグリルモードを使用しない**
  発火のおそれがあります。

お願い

◇機器が正しい調理時間を予測するため、下記のことをお守りください。
・オートメニューは魚専用です。魚以外は、マニュアルグリルで焼いてください。
・予熱しないで使用してください。
・オートグリル使用中は、グリルとびらを開けないでください。
・種類や大きさの異なる魚を同時に焼かないでください。

◇連続して調理するときなど、グリル庫内の温度が高い場合は、オートグリルモードを受けつけない場合があります。
[オートメニュー]を押すとブザー音『ピーピーピー』と、タイマー表示部『H』でお知らせします。
しばらく待ってから使用してください。
※すぐに使用したい場合は、マニュアルグリル（33ページ）で使用してください。

◇調理終了のお知らせ後、すぐに調理物を取り出してください。
余熱で焦げることがあります。

❷ 焼き加減を設定する

❸ 点 火

点火すると機器が調理時間を予測し、時間（分）が表示されるまで、グリルタイマー表示のドットが点滅します。
※自動機能のためグリルタイマー時間の変更はできません。

自動消火（タイマー終了）

グリル燃焼ランプ

グリル燃焼ランプが消灯し、ブザー音『ピー』とタイマー表示部点滅でお知らせした後、タイマー表示部が消灯します。

オートグリルモードの取り消し

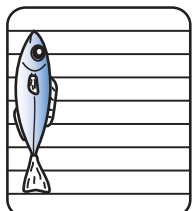
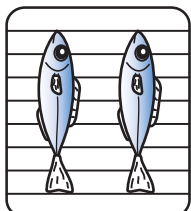
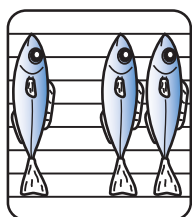
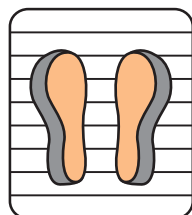
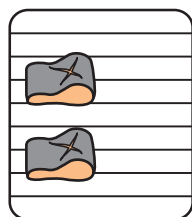
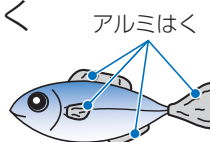
グリル操作部の を押し、消火する。

取り消し後に再び調理する場合は、マニュアルグリル（33ページ ）で行ってください。

オートグリルモード

◇魚の種類や大きさなどにより、オートメニューと焼き加減を選んでください。

オートメニュー	焼き加減 弱め	焼き加減 標準	焼き加減 強め
姿焼	★さんま 1～5尾（1尾 180g以下）	★さんま 1～5尾（1尾 180g以上） ★あじ 1～5尾（1尾 200g以下） 鯛 1尾（1尾 250g以下）	★あじ 1～5尾（1尾 200g以上） 鯛 1尾（1尾 250g以上）
切身	ぶり照り焼き 1～6切（1切 80g程度） さわらみそ漬け 1～6切（1切 80g程度）	さば切身 1～6切（1切 80g程度） 鮭切身 1～6切（1切 80g程度）	さば切身 1～2切（1切 150g程度） 太刀魚 1～6切（1切 80g程度）
干物	ししゃも 約10尾 さんま開き 1～2枚（1枚 100g程度）	あじ開き 1～4枚（1枚 70g程度） 干しかれい 1～2枚（1枚 120g程度） ほっけ開き 1～2枚（1枚 180g以下）	ほっけ開き 1～2枚（1枚 180g以上）

★：さんま、あじを5尾焼くと、まん中の魚（裏面）の焼き加減が浅くなります。
均一の焼き加減をお望みの場合は、1～4尾で焼くことを推奨します。

魚の置きかた	ポイント
◇頭を奥に 1尾の場合 端に置く 2尾の場合 均等に置く 3尾以上の場合、まん中の魚（裏面）の焼き加減が浅くなるため、まん中を避け、左右どちらかに寄せて置いてください。 手前側	◇尾・ヒレをきれいに焼く ・多めの塩を塗る ・アルミはくで包む アルミはく ◇火通りをよくする ・皮面に切り込みを入れる ◇みそ漬け・照り焼きをきれいに焼く ・表面のみそ漬けタレを十分にふき取り、弱めで調理する
◇皮面を上向きに 身の厚い部分を奥に置く 小さい切身は、身の薄い部分を外側にして左右どちらかに置く 手前側	**お願い** ◇厚みのある魚など（切身 2.5cm、姿 4cmを超えるもの）は中まで火が通りにくいので、マニュアルグリル（33ページ）で様子を見ながら焼いてください ◇干物は乾燥しているほど焼けやすくなっています
◇頭を奥に 手前側	◇脂のりがよい場合は焦げやすくなります

ダッチオーブンモード ダッチオーブンのセット方法

ダッチオーブンは必ず専用のダッチオーブンを使用してください。

※ダッチオーブンが付属されていない機器をご購入のお客さまは別売のダッチオーブンセットをお買い求めください。
（64ページ）
別売のダッチオーブンセットのお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。

◇ダッチオーブンでできる料理の例

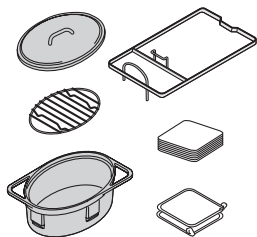
豚肉のロースト　ローズマリー風味

スペアリブ

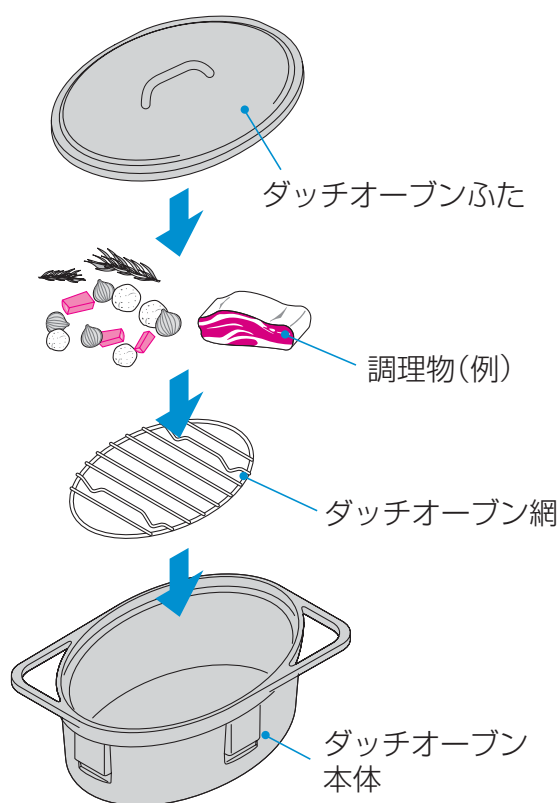
パエリア

調理物のセット

ダッチオーブン

◇専用のダッチオーブンセットを別売しています
（DP0127：64ページ）

①ダッチオーブン網を図のように足が下向きになるように、ダッチオーブン本体にセットする。
（料理の種類によって、セットしない場合もあります。）

②調理物をダッチオーブン網の上にのせる。

③ダッチオーブンふたをダッチオーブンにセットする。

◇ダッチオーブンはほうろう加工されているのでシーズニング（油をなじませること）は不要です。

ダッチオーブン本体のセット

ダッチオーブンは必ず支持枠の上に正しくセットして使用してください。

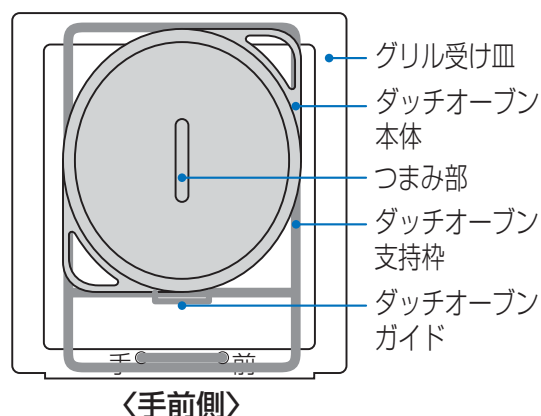
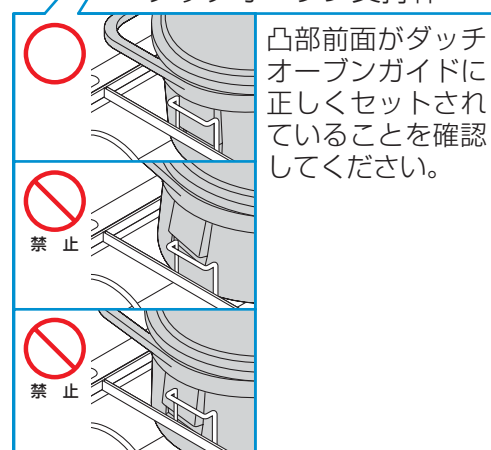
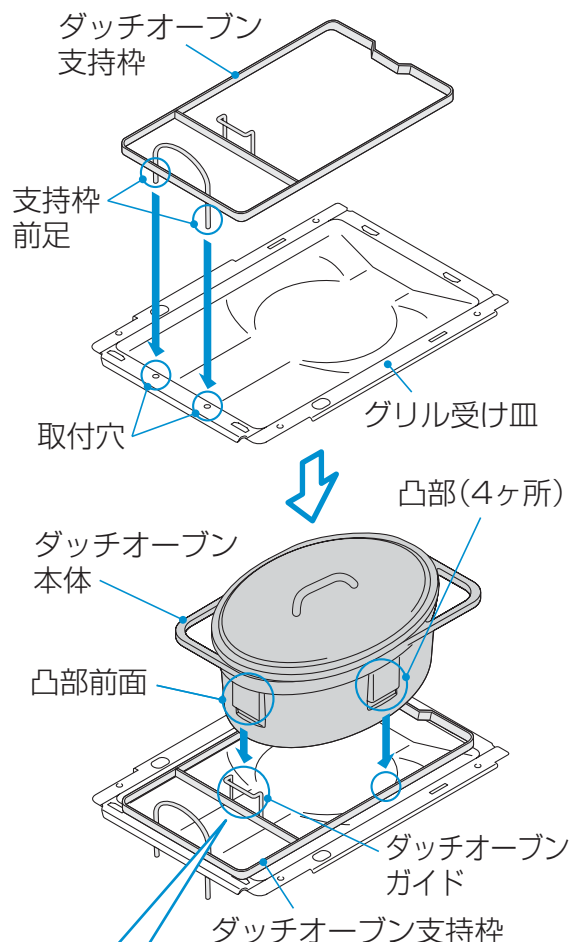
①ダッチオーブン支持枠前足を、グリル受け皿の取付穴に差し込む。

※支持枠前足の右側は長くなっています。

②ダッチオーブン本体の凸部4ヶ所を、ダッチオーブン支持枠にのせる。

⚠注意

ダッチオーブン本体の凸部前面を図のようにダッチオーブンガイドにセットする
正しくセットしないと、ダッチオーブン本体が傾いたり、ダッチオーブン本体を取り出す際にダッチオーブン支持枠がはずれず、持ち上がる場合があります。
また、ダッチオーブン支持枠が途中ではずれた場合、落下し、やけどやけがのおそれまたは、床を傷つけたりするおそれがあります。

※ダッチオーブンふたのつまみ部が、図のようにまっすぐになるようにセットしてください。

〈手前側〉

凸部前面がダッチオーブンガイドに正しくセットされていることを確認してください。

※イラストはわかりやすくするために、グリルとびらをはずしたイラストになっています。

お願い

◇ダッチオーブンを使用する場合は、必ずダッチオーブン支持枠を使用してください。
(ダッチオーブンを直接グリル受け皿にのせると、グリル受け皿にキズがつきグリル受け皿のコーティング(クリアコート)がはがれる原因となります。)

ダッチオーブンモード

準　備

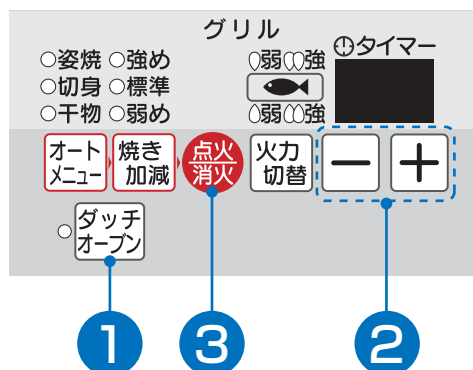
基本操作
（グリル）

ダッチオーブンモードは、必ず専用のダッチオーブンを使用してください。

※ダッチオーブンのセット方法は40ページを参照してください。

グリル燃焼ランプ

ダッチオーブンは
まっすぐ置く

グリル操作部（シート）

◇予熱せずに使用してください。
◇ダッチオーブン使用中は、グリルとびらを開けないでください。
◇グリル使用後や、グリル庫内の温度が高い場合は、ダッチオーブンモードを受け付けません。
［ダッチオーブン］を押すとブザー音『ピーピーピー』と、タイマー表示部『H』でお知らせします。
しばらく待ってから使用してください。
◇ダッチオーブンが重いため、グリルとびらが閉まりにくい場合があります。きっちりと奥まで閉めて使用してください。

⚠注意

ダッチオーブンモードは必ずダッチオーブンを使用し、グリル焼網を使用した調理はしない

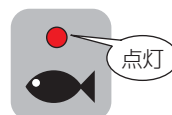
発火の原因となります。

❶ ダッチオーブンに設定する

ダッチオーブンキーを『ピピピッ』と音がするまで押す。

❷ タイマーを設定する

タイマーが作動中でも、タイマーの変更は可能です。（連続使用最長可能時間は30分です。）

❸ 点　火

グリル燃焼ランプ

グリルが点火後、タイマーがスタートします。

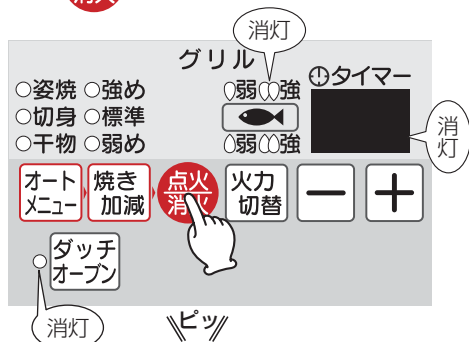
火力切替は不要です。
（火力は自動的に調節します。）

自動消火（タイマー終了）

グリル燃焼ランプ

グリル燃焼ランプが消灯し、ブザー音『ピー』とタイマー表示部・ダッチオーブンランプの点滅でお知らせした後、タイマー表示部・ダッチオーブンランプが消灯します。

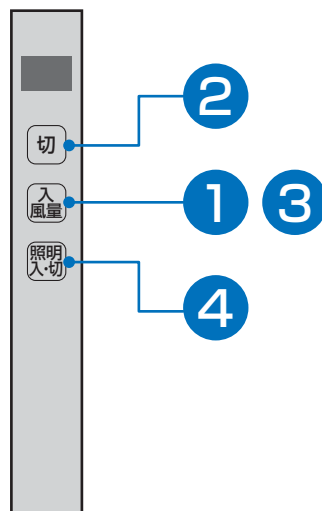
途中で消火したい場合

グリル操作部の 点火消火 を押す。

◇焼き足したい場合は

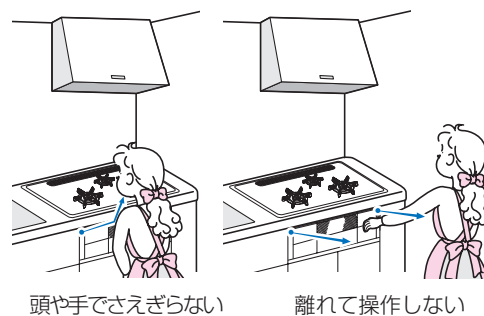
・消火後、グリル庫内の温度が高い場合は ダッチオーブン を押しても受け付けないので、マニュアルグリル（33ページ）上火：強、下火：強で調理してください。

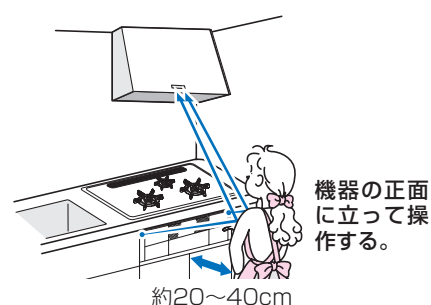
レンジフードファン連動機能の使いかた

※指定以外のレンジフードファンでは連動しません。
※フード連動用リモコンが付属されていない機器では、この機能は使えません。

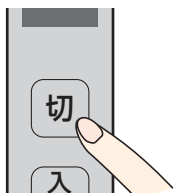
必ず専用のフード連動用リモコンを使用してください。

ご注意

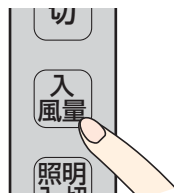
◎下記の場合は、動作しないおそれがあるので注意する。
- ・赤外線発信部の近くに立ちすぎている。
- ・前かがみで操作し、手や顔で信号がさえぎられている。
- ・機器の横に立って操作している。
- ・テレビ・エアコンなどのリモコンを同時に操作している。
- ・機器の赤外線発信部やレンジフード側の赤外線受信部が汚れて、通信に弊害が生じている。
- ・赤外線の反射しにくい服（黒い服やビロード、毛糸の服など）を着て操作している。
- ・レンジフードの受光部に太陽光が当たったり、受光部と照明が近すぎる。

※連動しにくい場合は、レンジフードファンのスイッチもしくは、機器のレンジフード用操作部で操作する。

お願い

- ・点火／消火はカウンターから約20～40cm離れ、機器の正面に立って操作してください。
- ・レンジフードファンに関する取扱注意および使いかたは、レンジフードファンの取扱説明書をよくお読みください。

◆レンジフードファン機能とは

・機器から出される赤外線信号が、機器を操作する人に反射し、レンジフードファン側で受信し、レンジフードファンを自動的に作動させるものです。

手動運転の場合

・レンジフードファンの種類により、
・すぐ停止する。
・約3分後に停止する。
・常時換気に移行する。
場合があります。

③ 風量切替

・入風量を押す毎に、風量が切り替わります。
・レンジフードファンの（風量）表示ランプを確認してください。

照明入・切を押す毎に切り替わります。
“点灯”➡“消灯”

自動運転の場合

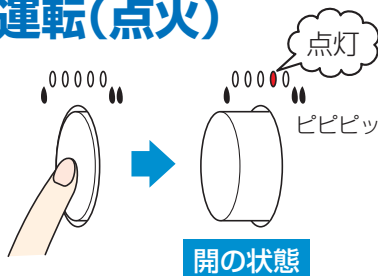
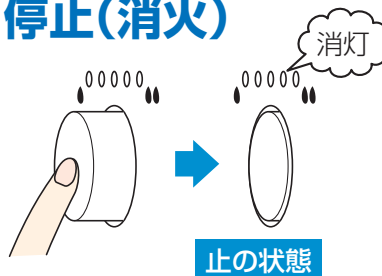
・コンロまたはグリルの点火／消火操作をすることで、自動的にレンジフードが運転します。※イラストはコンロの場合

① 運転（点火）

開の状態

② 停止（消火）

消灯

止の状態

・レンジフードが停止または、常時換気となります。

・“標準”または“中”の風量で動作しますが詳細については、レンジフードファンの取扱説明書を参照してください。なお、すでに他のコンロやグリルを使用している場合は、使用時の風量を維持します。
・必ず点火操作後（約5秒以内）にレンジフードファンが運転していることを確認してください。
・風量切り替えは手動で行ってください。

・レンジフードファンは消火操作から約3分後に自動停止または、常時換気となります。（レンジフードのタイプにより、常時換気のない場合があります。詳細についてはレンジフードファンの取扱説明書を参照してください。）
・消火操作を行っても他のコンロやグリルなどを使用中の場合、レンジフードファンは停止しません。
※自動消火時（立消え安全装置作動、コンロ・グリルタイマー作動時など）にはレンジフードファンは自動停止しません。機器の消火操作またはレンジフード用操作部の“切”キーを押してください。

換気連動機能をOFF（ON）にする場合

機器のサイドモール（右）の操作部で 入風量 切 を3秒以上同時に押す。
換気連動がOFFになるとレンジフードの照明が点灯時は消灯に、消灯時は点灯に自動で切り替わります。
換気連動をONにする場合も同じです。
※乾電池を抜いたりしたとき、上記設定が解除になり換気連動ONの状態に戻ります。

電池交換

◆必ず機器が冷えてから行ってください。

1 左パネル上面（電池ケースふた）の右側に指を引っ掛け、パネルを開ける。

左パネル上面
（電池ケースふた）

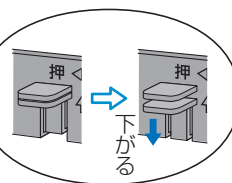
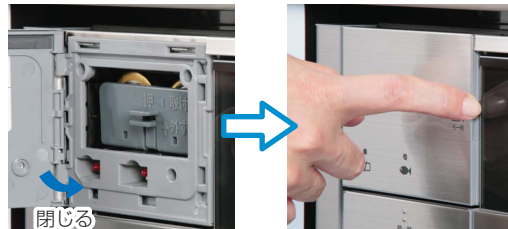
4 アルカリ乾電池（単1形：2個）の⊕⊖を確かめ、電池ケースに組み込む。

2 電池ケース前面にある上下の凸部をつまむ。

5 電池ケースを元の位置に戻す。
（カチッと音がするまで）

押す

下がる

3 電池ケースを引き抜く。
※電池ケースは落下防止のため、途中で止まる仕様になっています。
電池ケース上下をはさむように持ち替え、少し持ち上げて引き抜いてください。

6 左パネル上面（電池ケースふた）を元どおりに閉じ、電源スイッチが入るか確認する。

※パネル（電池ケースふた）を開けにくい場合は、グリル部を引き出した状態で行ってください。

⚠注意

乾電池は充電・分解・過熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

お願い

◇電池ケースふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。ふたが破損する原因になります。
◇乾電池の挿入方向を間違えないようにしてください。また、新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◇乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。マンガン乾電池を使用すると乾電池寿命が短くなります。
◇電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。

◇乾電池の寿命は、乾電池の種類によって異なりますが、通常約1年をめやすにしてください。
◇付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電により寿命が短くなっている場合があります。

お手入れ

⚠注意

必ず守る

お手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから手袋をはめて行う
とくにグリル排気口の中側(奥側)、グリル庫内をお手入れするときは、十分注意する
やけどや機器の角などでけがをする原因になります。
お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん・紙類などを置き忘れていないか必ず確認する
バーナーキャップ水洗い後は、よく水気を切る
水分が残ったまま取り付けると、点火不良や不完全燃焼になります。
バーナーキャップを正しく取り付ける
正しく取り付けないと、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損、変形するおそれがあります。
ごとくは、欠き部をバーナーリングの凸部に合わせ、正しく取り付ける
正しく取り付けないと、鍋の転倒によるやけどや、点火不良・不完全燃焼の原因になります。

◇各部品がいたんでいないか確認してください。
いたんだまま使用されますと、思わぬ事故の原因となります。
いたんでいる場合は、63ページの交換部品を参照し、部品を交換してください。詳しくは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社(別紙サービス網一覧表)にお問い合わせください。

お手入れ道具・洗剤について

スポンジたわし

やわらかい布

やわらかい歯ブラシ

台所用中性洗剤

トップレートのみ

クリームクレンザー

※トッププレート以外には使用しないでください。

○○○○○○WA○○STS(STSD)の ステンレス製ごとく・バーナーキャップカバーのみ

ステンレス用クリーナー LP 0127A (64ページ)

※ステンレス製のごとく・バーナーキャップカバー以外には使用しないでください。

ナイロンたわし

亀の子たわし

金属たわし

スポンジたわし裏面

クレンザー

ミガキ粉

硬い歯ブラシ

◇キズの原因となるもの
・部品・ガラス・ホーロー・フッ素コート・クリアコートや塗装の表面にキズがつき、はがれ・欠け・変色・変質・さび・割れの原因になります。

酸性洗剤・アルカリ性洗剤・漂白剤

シンナー・ベンジン・アルコール

◇部品やホーロー・フッ素コート・クリアコートや塗装の表面が変質し、はがれ・変色・さび・樹脂部品の割れの原因になるもの

歯みがき粉

弱酸性洗剤・弱アルカリ性洗剤・クリームクレンザー

重曹

◇樹脂部品の割れ・表面の変質・キズ、変色・さびの原因になるもの

直接かけて使ってはいけないもの

スプレー式洗剤

・機器内部に洗剤が入ると故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。

お願い

◇ご使用の都度、お手入れしてください。汚れたままにすると汚れがこびりつき、落ちにくくなります。
煮こぼれをした場合は、その都度お手入れしてください。
煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、はずれにくくなったり、故障の原因になります。
とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
◇バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバー・グリル部品(グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿、サイドカバー)ははずせます。それ以外の部品は、絶対に取りはずさないでください。

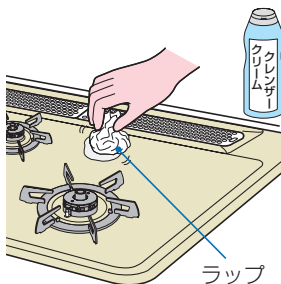
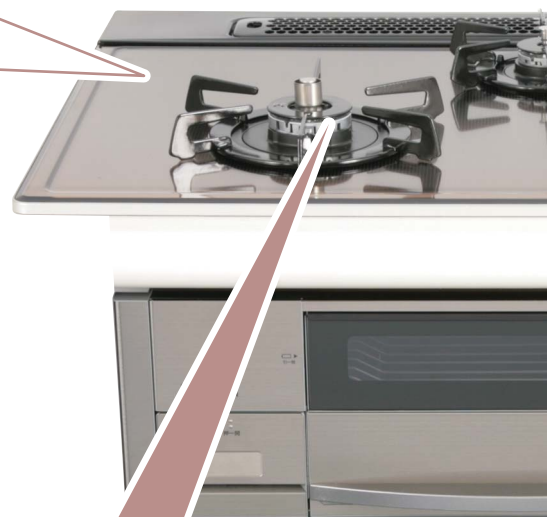
お手入れ

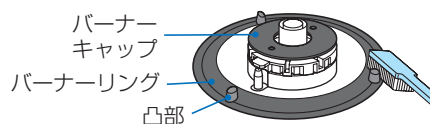
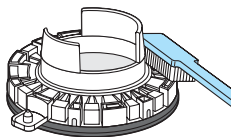
◇○○○○○○WA○○STS(STSD)のごとくおよびバーナーキャップカバーの材質として、ステンレスを採用しています。
◇ステンレスは、その美しさに加えて錆や腐食に対し優れた特性を備えていますが、反面、炎で熱せられると変色し、色調が変化する特性も持っています。
◇コンロをご使用になると、ごとく、バーナーキャップカバーとも変色しますが、これは異常ではありません。
◇この変色は専用のステンレス用クリーナーでお手入れいただくことにより、きれいにすることができます。（ただし、高温となるごとくの先端部分などは変色が残ります。また、コンロをご使用になると再度変色します。）

トッププレート

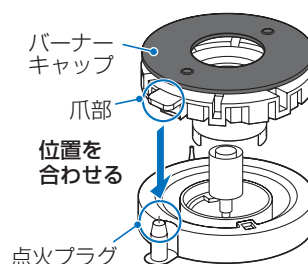
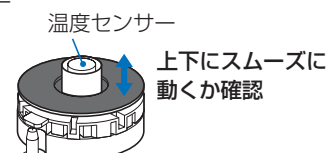
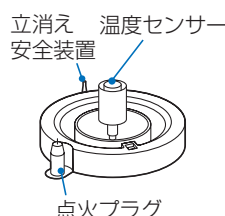
◇台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取った後、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

取れにくい汚れ

◇メラニン樹脂系のスポンジを使用したり、丸めたラップにクリームクレンザー（表面印刷がうすくなるため、常用はしないでください）をつけてこすり、ふき取ってください。

※バーナーリング・バーナー本体にクリームクレンザーがかかると、塗装のはがれ、色が薄くなる、光沢がなくなるなどの原因となります。

バーナー部

◇バーナーキャップやバーナーリングは、台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取った後、洗剤や水分が残らないように、乾いた布で再度ふいてください。
ただし、○○○○○○WA○○STS(STSD)のバーナーキャップカバーが変色した場合のお手入れは専用のステンレス用クリーナー（64ページ）を使用してください。（ステンレス用クリーナーでのお手入れのしかたは、48ページ（ごとく）を参照してください。）
※バーナーキャップの目づまりや、バーナーリング周りは、歯ブラシなどでお手入れしてください。

◇点火プラグ・立消え安全装置・温度センサーは、煮こぼれなどの汚れを乾いた布でふき取ってください。
（洗剤などは使用しないでください。）
◇点火プラグ・立消え安全装置・温度センサーにキズや衝撃をあたえないようにしてください。
※センサーは軽い力で、上下にスムーズに動くか確認してください。

取り付けかた

◇バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、取り付けてください。
（点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。）

◆お手入れは、機器のガス栓を閉じ、機器が冷えてから手袋をはめて行ってください。
◆洗剤を使用した後は、洗剤が残らないようにしてください。
◆部品を取り付けた後は、傾きがないことを確認してください。

グリル排気口カバー

◇台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取った後、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

取れにくい汚れ

◇台所用中性洗剤で丸洗いした後、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

取り付けかた

◇グリル排気口カバーをグリル排気口の枠に合わして取り付けてください。

機器表面・操作部

◇乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れ

◇台所中性洗剤を含ませた布でふき取った後、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※グリルとびら取っ手には、特殊塗装を施していますが、万一表面の塗装がはがれても使用上問題はありません。

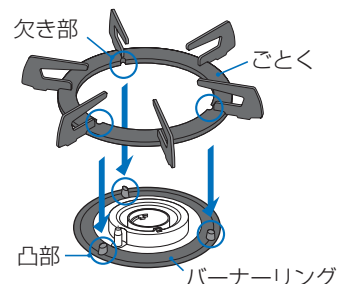
ごとく

◇台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取った後、乾いた布で水気をふき取ってください。
※○○○○○○○WA○○STS(STSD)のステンレスごとくが変色した場合のお手入れは、専用のステンレス用クリーナー(64ページ)をやわらかい布やスポンジ、丸めたラップに含ませてこすり、ふき取ってください。(バーナーキャップカバーも同様にしてください。また、ステンレス用クリーナーがバーナーキャップ本体に付いた場合は、すぐに水洗いしてください。そのままにしますとバーナーキャップ本体の腐食や炎口づまりの原因になります。)

取れにくい汚れ

◇台所用中性洗剤で丸洗いした後、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

取り付けかた

◇ごとくの下部にある欠き部に、バーナーリングの凸部(3ヶ所)を合わせて取り付けてください。
※ツメ部がグラグラしていると、鍋などをのせたとき、鍋などの転倒の原因になります。
(新しいごとくと交換してください。)

レンジフードファン連動赤外線発信部のお手入れ

◇水や中性洗剤を含ませた布などの、やわらかい物でお手入れをしてください。
※金属たわし・ナイロンたわし・ミガキ粉などの固いものや、台所用中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナーや漂白剤などのアルカリ性洗剤は、キズやシミ・変色・はがれの原因となりますので、使用しないでください。
※赤外線発信部および(レンジフードファン)受信部にキズがついたり、油汚れを放置するとレンジフードファンが連動しない場合があります。

お手入れ

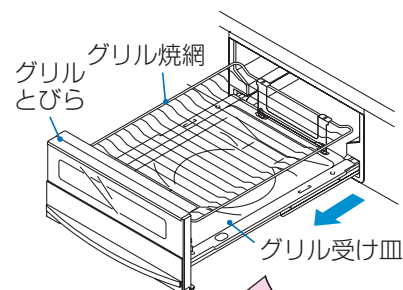
グリル部

取りはずしかた

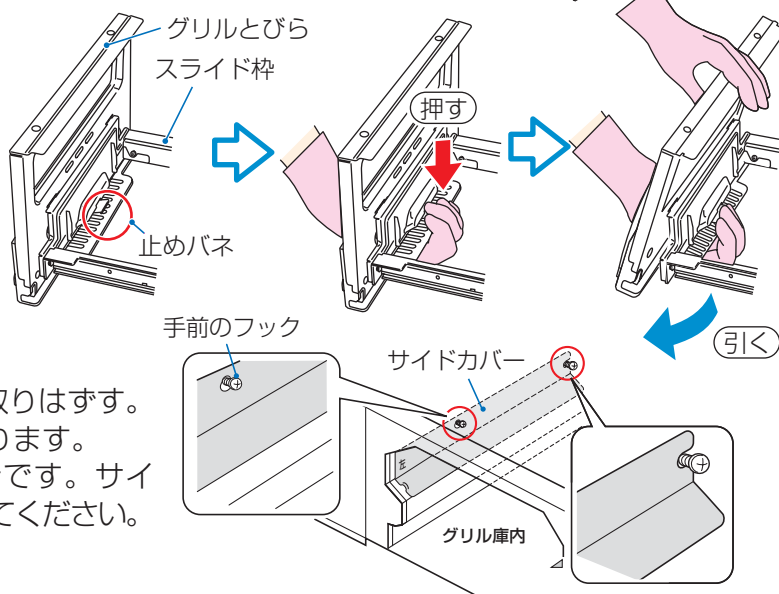
スライド枠は取りはずせません。

グリル焼網・グリル受け皿

・グリルとびらを水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出す。
・グリル焼網・グリル受け皿を持ち上げて取りはずす。
※グリル使用直後はグリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網、スライド枠が熱くなっていますので注意してください。
※グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。

グリルとびら　グリル焼網　グリル受け皿

グリルとびら

・スライド枠とグリルとびらを固定している止めバネを押し下げ、もう片方の手を添えながら、手前に引く。
※グリル焼網をセットした状態では、グリルとびらは正しく取りはずすことができません。
※スライド枠は取りはずせません。

グリルとびら　スライド枠　止めバネ　押す　引く

サイドカバー

・手前のフックからサイドカバーを取りはずす。
※サイドカバーは、(左)(右)があります。
※図は、サイドカバー(左)の場合です。サイドカバー(右)も同様に取りはずしてください。

お手入れ

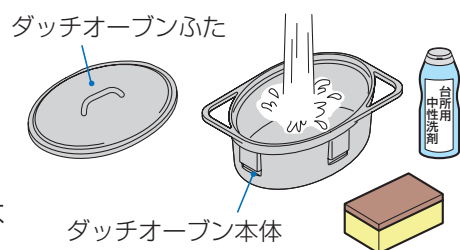
グリル受け皿・グリル焼網・グリルとびら・サイドカバー

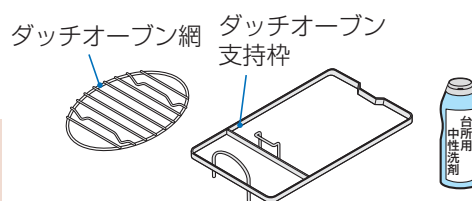
・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取った後、洗剤や水分が残らないように、乾いた布で再度ふいてください。
※汚れたまま放置したり、使用するとシミやフッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)のはく離の原因となります。

グリル庫内

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジで拭き取った後、洗剤や水分が残らないように、乾いた布で再度ふいてください。
※お手入れの際は、必ず手袋をはめてください。

ダッチオーブンふた・ダッチオーブン本体

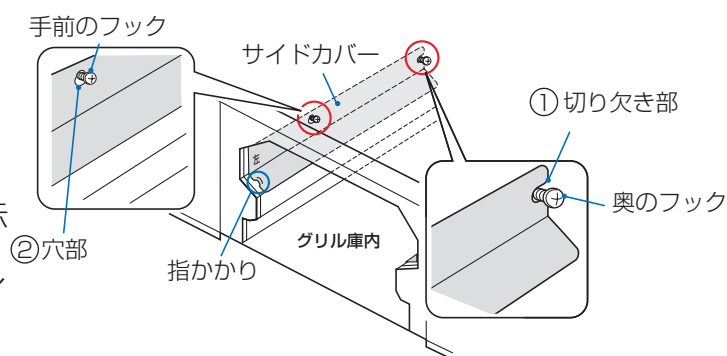
・ダッチオーブンが十分冷えてから、お手入れを行ってください。
・台所用中性洗剤を含ませたスポンジで丸洗いしてください。その後、乾いた布で十分に水気をふき取ってください。
※金属たわしは、細かなキズが付き汚れがこびりつきやすくなるので、使わないでください。

ダッチオーブン網・ダッチオーブン支持枠

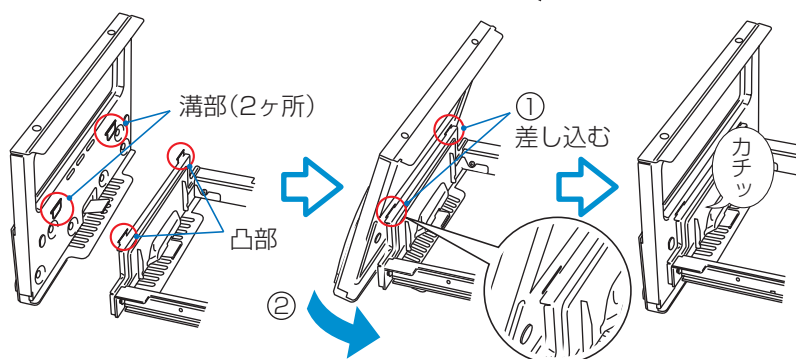
・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取った後、乾いた布で水気をふき取ってください。

汚れが落ちにくいときは、スポンジやナイロンたわしに台所用中性洗剤をつけて洗った後、乾いた布で十分水気をふき取ってください。

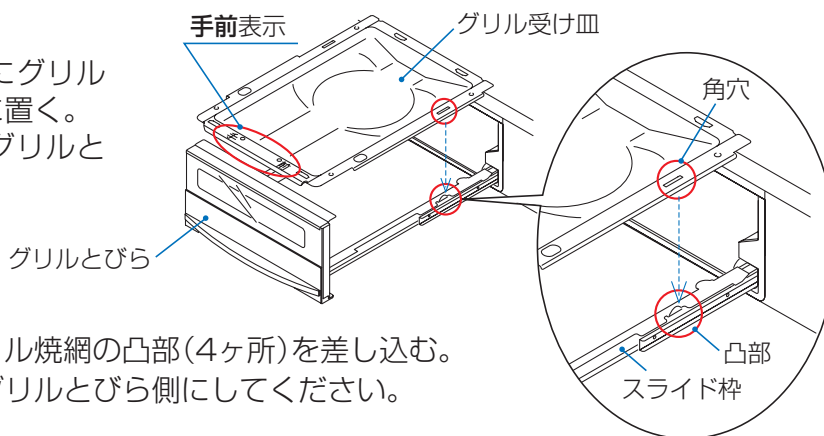
◆お手入れは、機器のガス栓を閉じ、機器が冷えてから手袋をはめて行ってください。
◆洗剤を使用した後は、洗剤が残らないようにしてください。
◆部品を取り付けた後は、傾きがないことを確認してください。

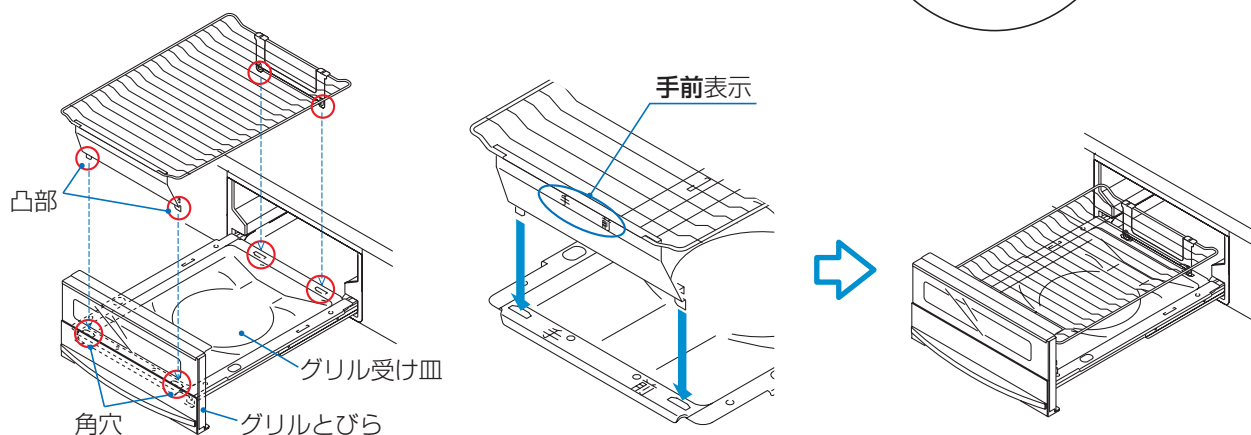
取り付けかた

サイドカバー

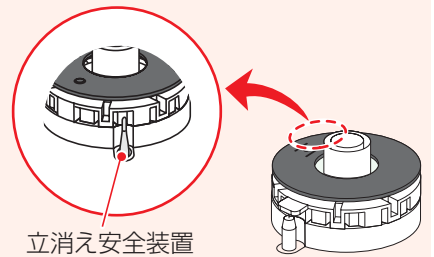
①奥のフックに、切り欠き部を差し込む。
②手前のフックに穴部を引っかける。
※サイドカバーは、(左)(右)がありますので、注意してください。
指かかりのある手前側に左または右と表示しています。
※図は、サイドカバー(左)の場合です。サイドカバー(右)も同様に取り付けてください。

グリルとびら

①グリルとびらの溝部(2ヶ所)に、スライド枠の凸部を差し込む。
②左右2ケ所が確実に差し込まれていることを確認し、とびらの下部を『カチッ』と音がするまで押す。
※グリル焼網を取り付けた状態では、グリルとびらは正しく取り付けできません。

グリル受け皿

・スライド枠の凸部(左右)にグリル受け皿の角穴が入るように置く。
※**手前**と表示している方をグリルとびら側にしてください。

グリル焼網

・グリル受け皿の角穴にグリル焼網の凸部(4ヶ所)を差し込む。
※**手前**と表示している方をグリルとびら側にしてください。

グリルとびらが閉まりにくい場合は、サイドカバー、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けされていません。再度きっちりと取り付けてください。

安全機能

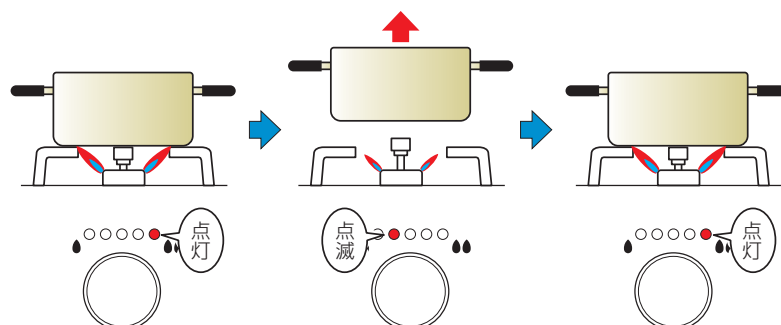
立消え安全装置 （コンロ／グリル）	◇**風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。** （完全にガスが止まるまで数秒かかります。） ※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全になくなってから点火してください。 ・立消え安全装置に煮こぼれや水滴がついたときは、きれいにふき取ってください。 また、立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。 （点火不良の原因になります。）
消し忘れ消火機能 （コンロ／グリル） 消し忘れ消火機能の設定時間は変更することができます。 カスタマイズ機能（60ページ）	**〈コンロ〉** ◇**点火後、約120分（高温で変化のない場合、約30分）経過すると自動的にガスを止め、消火します。** ※左右コンロは、センサー解除モード使用時約60分（高温で変化のない場合、約30分）で消火します。 **〈グリル〉** ◇**点火後、約18分経過すると自動的にガスを止め、消火します。** ◇**オーブンモード時は約30分経過すると自動的にガスを止め、消火します。**
焦げつき自動消火機能 （コンロ）	◇**焦げつきや空だきの場合、自動的にガスを止め、消火します。** ・焦げの程度は、鍋の材質・火力・調理物によって異なります。 ※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいて自動消火することがあります。再度点火すると正常に作動します。 ※センサー解除モードを使用している間は、 左右コンロのみこの機能ははたらきません。
天ぷら油過熱防止機能 （コンロ）	◇**油温が約250℃になると強火⇔弱火をくり返し、温度変化がない場合、約30分後に自動的にガスを止め、消火します。 それ以上に温度が高くなると、約30分を経過する前に自動的にガスを止め、消火します。** ※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。 ※センサー解除モードを使用している間は、 左右コンロのみこの機能ははたらきません。 **⚠警告** **センサー解除モードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない** センサー解除モードでは、天ぷら油過熱防止機能の消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され、発火し、火災の原因になります。 **⚠注意** **天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意する** やけどやけがの原因になります。

◆使用中に自動消火した場合は、必ず点火／消火ボタンを「消火の状態」にしてください。
※電池の消耗が早くなります。
◆お知らせ表示は59ページを参照してください。

鍋なし検知
（左右コンロ）

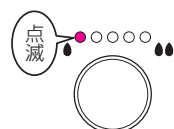
◇**鍋を置かなかったり、調理途中に鍋を上げたりした場合は、鍋なし検知がはたらきます。**

点 火 前
・鍋を置かなかった場合は、点火しません。
（ブザー音『ピーピーピー』と火力表示ランプの点滅(全部)でお知らせします。）

調理途中
・鍋を上げると、火力2に変わります。（弱火および火力2のときは変わりません。）
・鍋を元に戻すと火力も元に戻ります。

⚠注意

調理途中、鍋を上げたあとに鍋を戻すと、火力も元に戻ります
バーナー付近には顔や手を近づけないでください。
やけどの原因になります。

必ず守る

《点火後に鍋を上げるなどした状態が約1分間続くと》
◇自動消火し、ブザー音『ピーピーピー』と火力表示ランプ（左端）の点滅でお知らせします。

※左右コンロでセンサー解除モードを使用している間は、この機能ははたらきません。

グリル過熱防止センサー
（グリル）

◇**グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高い場合、自動的にガスを止め、消火します。**

⚠注意

必ず守る

グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリル受け皿やグリルとびらガラスの温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

故障かな？と思ったら①

修理を依頼される前にこの表で確かめてください

	こんなとき		考えられること	参照ページ
電源	電源が入りにくい（または入らない）	－	お手入れなどで誤って電源ボタンに触れても電源が入らないようにしています。 他のボタンより長く(0.3秒)押してください。	－
点火	**点火しない** ①点火しない ②点火しにくい ③スパークしない ④点火してもすぐ消える	①②③④	電池交換サインが点滅していませんか？ 乾電池が消耗していて、機器を作動させる電圧がなくなったためです。 新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	45
			バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか？	14・47
			アルミはく製しる受けを使用していませんか？ 使用しないでください。	10
		①②③	バーナーの炎口がつまっていませんか？ 点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていませんか？	－
			グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。	－
		①②	LPガスがなくなりかけていませんか？ （LPガスをご使用の場合）	－
			ガス配管内に空気が残っていませんか？ （長期間使用していなかったり、朝一番など）点火操作を繰り返してください。	－
			機器のガス栓を全開にしてますか？	18・31
			鍋を置いていますか？ 鍋を置いていないと点火しません。	18・52
			鍋底のへこみ（約4mm以上）が大きな鍋を使用していませんか？ 温度センサーが正しく密着していません。 鍋底がへこんでいない鍋を使用するか、センサー解除モードを使用してください。	6・9 20
		①③	電源は入っていますか？ 電源を入れないとすべての操作を受け付けません。	5・18 31
			ロックを解除していますか？	18
		③	連続で96時間、鍋を置いたままにしていませんか？ 安全のため、鍋なし検知センサーチェックを行っており、使用できなくなるようにしています。一旦鍋などを上げて、再度点火してください。	－
		④	温度センサーが高温になっていませんか？ 安全装置が作動して消火した場合、温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。	－
	グリルの点火操作を受け付けない	－	点火不良が数回続くと安全装置が作動し、前回の点火操作から約10秒間は受け付けません。 しばらく待ってから、再度点火操作してください。	－

	こんなとき		考えられること	参照ページ
点火	点火すると他のバーナーもスパーク(パチパチ)する	—	1ヶ所の点火操作ですべてのバーナーでスパークします。 異常ではありません。	—
点火	点火／消火ボタン(コンロ)、点火／消火キー(グリル)から手を放してもスパークする	—	点火/消火ボタン、点火/消火キーから手を放してもスパークが続きます。(最長約7秒) 異常ではありません。	—
点火	複数のバーナーを連続で操作すると、操作された順番と動作する順番が異なる	—	機器で動作する順番を設定しています。 異常ではありません。	—
燃焼	**炎の状態がおかしい** ①炎が安定しない ②炎が黄色い、赤い ③常音をたてて燃える、消える ④炎が均一でない ⑤使用中炎が消える ⑥鍋にすすがつく	①②③④⑤⑥	バーナー炎口がつまっていませんか？ 点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていませんか？	47
		①②③④⑤⑥	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていませんか？	16・47
		①③④⑤	風が吹き込んでいませんか？ 扇風機や冷暖房機器の風があたっていませんか？	11・15
		②④⑤⑥	アルミはく製しる受けを使用していませんか？ 使用しないでください。	10
		②⑤	換気をしていますか？	11
		②⑤	火力調節をはやく操作していませんか？ はやく操作すると、炎が赤くなったり、消火する場合があります。 異常ではありません。ゆっくり操作してください。	—
		②	加湿器を使用していませんか？ 加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。 異常ではありません。	—
		②	コンロとグリルを同時に使用していませんか？ グリル使用時にコンロを使用すると焼きものの塩分(ナトリウム)やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。 異常ではありません。	—
		②	火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。 異常ではありません。	—
		⑤	弱火の状態でグリルとびらをはやく開閉していませんか？ はやく開閉すると消火することがあります。 ゆっくり開閉してください。	15
燃焼	すぐに消火しない	—	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。 異常ではありません。	—
燃焼	強火になったとき一瞬炎が大きくなる	—	バーナー内部のガスが一度に出されるためです。 異常ではありません。	—

故障かな？と思ったら②

	こんなとき		考えられること	参照ページ
音	**使用中、消火後に音がする** ①「ポン」と音がする ②「カチッ」と音がする ③キシミ音がする ④「シャー」と音がする ⑤点火初期に「ポッポッ」と音がする ⑥グリル使用中に魚などの脂が「パチパチ・ジュージュー」とはねる音がする	①	バーナーキャップを正しくセットしていますか？ コンロバーナー使用後の「ポン」という火の消えたときの音です。異常ではありません。 バーナーキャップが正しくセットされていないと上記のような音がする場合があります。	47
		②	火力を切り替える動作音です。 異常ではありません。	–
		③	点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。 異常ではありません。	–
		④	コンロバーナー使用中「シャー」と音がでますが、燃焼するガスの通過音です。 異常ではありません。	–
		⑤	機器が冷えている状態で点火するとしばらく「ポッポッ」と音のする場合があります。 異常ではありません。 機器が温まると音はなくなります。	–
		⑥	魚などに含まれている水分が油と接触して蒸発する音です。 異常ではありません。	–
使用時	**コンロ使用時に…** ①調理中に消火する ②油が高温になっていても自動消火しない ③点火してもすぐ消える ④自動で火力が変わる ⑤火力を調節しても変わらなかったり、欲しい火力にならない ⑥鍋底がひどく焦げついて消火する ⑦揚げものがうまくできない ⑧弱火になって1分後に消火する	①②	鍋の形状や材質が適していますか？	17
		③④	鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9
		⑥⑦	鍋底や温度センサーが汚れていませんか？	
		①② ③④ ⑦	油の量は適切ですか？ 油量500mL～1000mLが適切です。 鍋の形状や材質、油の量によっては油の温度が設定温度より高めになったり低めになったりする場合があります。 設定温度を加減してお使いください。	17・23 24
		①③	温度センサーが高温になっていませんか？ 安全装置がはたらいて消火した場合、温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。	51
		①⑥	鍋底が焦げついて消火していませんか？ 焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火がはたらいて、自動的に消火します。	51
			カレーやシチューなどとろみのある料理を中火以上で再加熱していませんか？ 水を加え弱火で様子を見ながらかき混ぜて調理してください。	–
		①	長時間使用していませんか？ コンロは、点火後約120分で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	51
			タイマーが終了していませんか？ 再度点火してください。	22

使用時

こんなとき		考えられること	参照ページ
コンロ使用時に… ①調理中に消火する ②油が高温になっていても自動消火しない ③点火してもすぐ消える ④自動で火力が変わる ⑤火力を調節しても変わらなかったり、欲しい火力にならない ⑥鍋底がひどく焦げついて消火する ⑦揚げものがうまくできない ⑧弱火になって1分後に消火する	①	弱火の状態でグリルとびらをはやく開閉していませんか？ はやく開閉すると消火することがあります。 ゆっくり開閉してください。	15
	③	冷凍食品や冷凍した調理物をそのまま調理していませんか？解凍してから調理してください。	—
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。 弱火⇔強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動消火します。 弱火になると支障のあるときは、センサー解除キーを押すと、高温での調理ができます。	51
	④	安全のため、火力を段階的に戻しています。 異常ではありません。	52
	④	フライパンや鍋をふったり、浮かせて調理していませんか？ フライパンや鍋を持ち上げると、弱火になります。弱火になると支障のあるときは、センサー解除キーを押してください。	20・52
	⑤	急な火力調節をしていませんか？ 急な操作を受け付けないことがあります。 異常ではありません。 ゆっくり操作してください。	—
	⑤	火力微調節状態では、火力の変化が小さい(変化しない)ところがあります。 火力が変化する位置まで回してください。	20
	⑥	カラメル、みそなど水分のほとんどない料理を中火以上で加熱していませんか？ 弱火で様子を見ながらかき混ぜて調理してください。	—
	⑧	鍋などを置いていますか？ 鍋などを上げた状態が約1分続くと自動消火します。	52
炊飯モードで上手に炊飯ができない ①ふきこぼれる ②ごはんがかたい ③ごはんがやわらかい ④ごはんが焦げる	①②③④	炊飯に適した鍋を使用していますか？	17・27
	①②③④	鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9
	①②③④	炊飯量は適切ですか？ ごはん1～3合、おかゆ0.5～1合が適切です。	27
	①②③④	お米の量や水量を正しく計量していますか？	27
	②③	銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。	—
	②④	よく洗米していますか？	27・28
	②	ひたしおき時間は十分ですか？	27
	②	炊飯途中にふたを開けていませんか？	29
	②	炊き上がった後、10～15分程度むらしていますか？	29・30
	②	無洗米を使用していませんか？ 1～2回洗米し、3%ぐらい多めに水をいれて、必ず浸しおきをして炊飯してください。	28
	③	むらした後、ごはんをかき混ぜていますか？	30
	④	炊きこみごはんではありませんか？ 白米にくらべ焦げやすくなります。	—

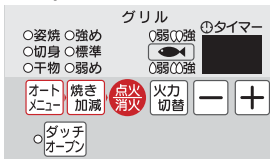
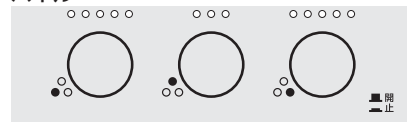
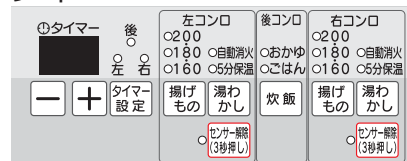
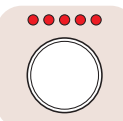
故障かな？と思ったら③

使用時

こんなとき		考えられること	参照ページ
湯わかしモードを使用しても… ①お湯がぬるい ②お知らせが遅い ③ふきこぼれる	①②③	湯わかしに適した鍋を使用していますか？	17・25
		鍋底が温度センサーと密着していますか？	6・9
		水の量は適切ですか？ 水量500mL～2000mLが適切です。	17・25
	①②	お湯（70℃以上）を湯わかしモードでわかしていませんか？ お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。	25
	①	火力を弱火にしていませんか？ 火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火したりします。	
	②	加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりしていませんか？	25
グリル使用時に… ①焼けすぎる ②焼け足りない ③焼きムラ ④煙が出る ⑤オートメニューを受け付けない ⑥火力が変わる ⑦調理中に消火する	②③④⑦	グリルとびらは確実に閉まっていますか？	—
	①②③	焼き加減の設定、魚などの調理物の置きかたは合っていますか？	32・37 38
		食材にあった火力にしていますか？	33・34
	②③	グリル排気口カバーは付いていますか？ グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。	48
	⑤⑦	グリル庫内の温度が高くなっていませんか？ グリル庫内の温度が高すぎると、オートグリルモードは受け付けません。マニュアルグリルは受け付けますが、過熱防止センサーがはたらき、設定したタイマー時間より短い時間で消火することがあります。 グリル庫内が冷めるまで（約3分）待ってから使用してください。	35
	①	みそ漬けやかす漬けの魚を焼くときは、みそやかすは取ってから焼いていますか？	32・38
	②	冷蔵庫から出した冷たいままの魚などを焼いていませんか？ 完全に解凍していますか？	15・32
	④	脂の多い魚などを焼くと煙が多く出るため、排気口以外からも煙が出る場合があります。 異常ではありません。	34
		初めてグリルを使うときグリル排気口以外から煙やにおいが出ます。グリルには加工油を使っておりその油が焼けるためです。 異常ではありません。	31
	⑥	オートグリルモード使用時は、火力を自動的に切り替えます。 異常ではありません。	—
	⑦	グリルタイマーが終了していませんか？ 再度点火してください。	—

<table>
<tr><th></th><th>こんなとき</th><th colspan="2">考えられること</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">電池</td><td>使用時に『ピー』というブザー音とともに電池交換サインが点滅する</td><td>—</td><td>乾電池が消耗していて、機器を作動させる電圧がなくなったためです。
新しいアルカリ乾電池（単1形：2個）に交換してください。</td><td>45</td></tr>
<tr><td>乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する</td><td>—</td><td>乾電池に記載されている使用期間を確認してください。
未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池（単1形：2個）に交換してください。</td><td>45</td></tr>
<tr><td rowspan="8">※レンジフードファン</td><td rowspan="5">動作しない（赤外線反射式）</td><td rowspan="5">—</td><td>乾電池が入っていますか？</td><td>—</td></tr>
<tr><td>換気連動がOFFになっていませんか？
乾電池が消耗していませんか？
新しいアルカリ乾電池（単1形：2個）に交換してください。</td><td>43
44</td></tr>
<tr><td>赤外線発信部または受光部が汚れていませんか？</td><td>43・48</td></tr>
<tr><td>赤外線発信部の正面で操作していますか？</td><td>43</td></tr>
<tr><td>赤外線発信部からの信号がさえぎられていませんか？</td><td>43</td></tr>
<tr><td rowspan="3">停止しない</td><td rowspan="3">—</td><td>消火してから約3分以上たっていますか？
レンジフードファンの種類により、停止方法が異なります。
レンジフードファンの取扱説明書を参照してください。</td><td>44</td></tr>
<tr><td>赤外線発信部の正面で操作していますか？</td><td>43</td></tr>
<tr><td>赤外線発信部からの信号がさえぎられていませんか？</td><td>43</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td rowspan="2">部品が変色する
①表面が変色する
②ごとくが変色する
③バーナーキャップが変色する</td><td>①②③</td><td>酸性やアルカリ性洗剤を使用していませんか？</td><td>46</td></tr>
<tr><td>②③</td><td>ごとく先端は、炎があたり白くざらざらになります。
異常ではありません。</td><td>—</td></tr>
</table>

※レンジフード連動機能付きコンロのみ

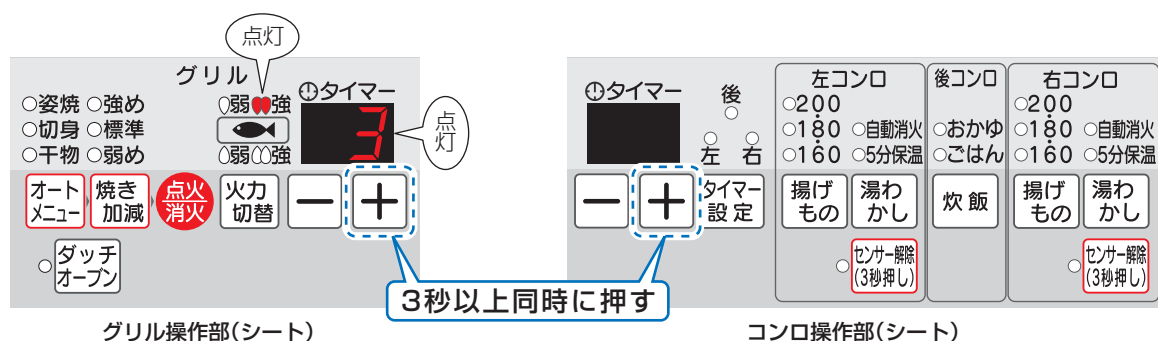
次の表示が出たら

	お知らせ表示	原因	処置
コンロ	ランプ表示(点滅) 例(後/左/右 ランプ、タイマー設定) + コンロタイマー表示部(点滅) 00	タイマー設定時間が終了したとき	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けてお使いになるときは、十分換気をしてから、再度点火してください。
	●○○○○ + 11	バーナー不着火(点火に失敗したとき)	
	●○○○○ + 12	バーナー途中消火(煮こぼれや風などで消火したとき)	
	●○○○○ + 02	焦げつきや異常高温になったとき	
	●○○○○ + (表示なし)	コンロ消し忘れ消火機能が作動したとき	
	●●●●●	鍋なし検知が作動したとき	鍋などをのせて再度点火してください。
	23	センサーチェックが作動したとき	鍋などを一旦上げてください。続けてお使いになるときは、再度鍋をのせて点火してください。鍋を上げた状態にしても、5秒毎のブザー音「ピー」報知と燃焼ランプの点滅が継続した場合は、点検が必要です。お買い上げの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。
グリル	ランプ表示(点滅) + グリルタイマー表示部(点滅) 00	タイマー設定時間が終了したとき	続けてお使いになるときは、十分換気をしてから、再度点火してください。 グリル過熱防止センサーがはたらいた場合は、しばらく(約3分)待ってから、再度点火してください。
	11	バーナー不着火(点火に失敗したとき)	
	12	バーナー途中消火	
	02	グリル過熱防止センサーが作動したとき(空焼きした場合や、焼きすぎた場合)	
	H	グリル庫内が高温になっているとき	庫内温度が下がるまで、しばらく待ってから使用してください。
電池	電池交換サイン表示(点滅)	電池が消耗してきたとき	電池を交換してください。 (45ページ参照) (アルカリ乾電池：単1形×2個)
その他	上記の処置で直らないときや、次の表示が出たとき 10 20 24 30 31 32 51 66 70 71 72 73		点検が必要です。コンロは、点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し、電源スイッチを「切」とし、お買い上げの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。

◇自動消火した場合は、必ず点火／消火ボタンを戻してください。

安全・便利機能の使いかた

カスタマイズ機能

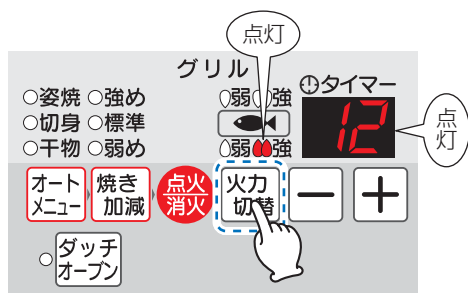
以下の機能を設定変更することができます。
・**オートパワーオフ機能**：工場出荷時(初期設定)は、「3分」に設定されています。
・**コンロ消し忘れ消火機能**：工場出荷時(初期設定)は、「120分」に設定されています。
※機器を使用していない状態で操作してください。

◇電源ボタンをONにし、グリルタイマーの ＋ とコンロタイマーの ＋ を、3秒以上同時押しを10秒以内に終了する。（グリル上火強が点灯する）
※機器を使用していない状態で操作してください。

グリル操作部(シート)　　**コンロ操作部(シート)**

オートパワーオフ機能時間の変更方法

・グリルタイマーの ＋・－ で、設定時間を切り替える。
※1分・2分・3分・4分・5分の時間設定ができます。（工場出荷時：3分）
例）“5”にすると、オートパワーオフ機能時間は、5分になります。
※電源ボタンをOFFにするか10秒以上経つと、表示されている時間に自動設定されます。(ブザー：ピー)

コンロ消し忘れ消火機能時間の変更方法

・ 火力切替 で、コンロ消し忘れ消火機能時間設定に切り替える。(グリル下火強が点灯する)
※コンロ消し忘れ消火機能時間を変更した場合は、タイマー設定可能時間、連続使用最長可能時間は、右下表のようになります。

コンロ消し忘れ消火機能時間	タイマー設定可能時間	連続使用最長可能時間	
		通常時	センサー解除時
30分	1～30分	30分	30分
60分	1～60分	60分	60分
90分	1～90分	90分	60分
工場出荷時 ⇨ 120分	1～99分	120分	60分

・グリルタイマーの ＋・－ で、設定時間を切り替える。
※30分・60分・90分・120分の時間設定ができます。(工場出荷時：120分)
例）“9”にすると、消し忘れ消火時間は、90分になります。
※電源ボタンをOFFにするか10秒以上経つと、表示されている時間に自動設定されます。(ブザー：ピー)

◇ 火力切替 を押す毎に、「オートパワーオフ機能時間設定」⇔「コンロ消し忘れ消火機能時間設定」に切り替わります。

仕様

品名	ガスビルトインコンロ	
トッププレート	60cm幅	75cm幅
型式名	C3WF8PWA	C3WF9PWA
点火方式	連続スパーク点火方式	
安全装置	・立消え安全装置 ・電源オートパワーオフ機能 ・ロック機能 （全バーナー） ・焦げつき自動消火機能 ・天ぷら油過熱防止機能 ・コンロ消し忘れ消火機能 （全コンロバーナー） ・鍋なし検知機能 （左右コンロバーナー） ・グリル過熱防止センサー ・グリル消し忘れ消火機能 ・ダッチオーブンタイマー（最大設定時間30分） （グリルバーナー）	
付属品	・取扱説明書（保証書付） ・工事説明書 ・クッキングブック ・サービス網一覧表 ・アルカリ乾電池（単1形1.5V：2個） ・ダッチオーブン（同こんタイプのみ）	
外形寸法	高さ264mm×幅598mm×奥行492mm （トッププレート幅593mm）	高さ264mm×幅598mm×奥行492mm （トッププレート幅738mm）
質量	26kg（本体）、4.5kg（ダッチオーブン）	27kg（本体）、4.5kg（ダッチオーブン）

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量kW				ガス接続
		個別ガス消費量			全点火時ガス消費量	
		左右コンロ	後コンロ	グリル		
都市ガス用	13A	4.20 {3,610kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	2.21 {1,900kcal/h}	10.6 {9,100kcal/h}	Rc1/2 （メネジ）
	12A	3.90 {3,350kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	2.06 {1,770kcal/h}	9.86 {8,480kcal/h}	
LPガス用		4.20 {0.301kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	2.28 {0.163kg/h}	10.6 {0.757kg/h}	

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

◇『故障かな？と思ったら』『次の表示が出たら』を見て、もう一度確認してください。
◇確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い上げの販売店、または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に連絡してください。なお、連絡されるときは、右記のことをお知らせください。

1. 品　番　品名コード
2. 型式名　電池ケースふた裏面に貼付の銘板をご覧ください。
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順
（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

◇ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
◇この機器は13A（12A）・LPガスのみの仕様です。他のガス種には調整・改造できません。

保証書

取扱説明書の66ページが保証書になっています。

◇保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
◇無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に相談してください。修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の保有期間

◇この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期限は、製造打ち切り後5年間です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

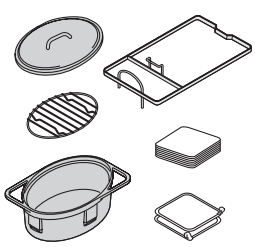
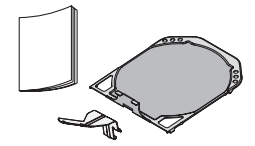
交換部品

交換部品（お客さまにて取り替え可能な部品）

◇下記の部品（有料）は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、インターネットの販売サイト（http://ec.harman.co.jp/）、0120-38-8180（電話料金無料）、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

部品がいたんできたら、早めに交換してください。

名　称	形　状	現金標準価格：税込		部品コード
＊ごとく（大）（左右コンロ用）		￥1,575（本体価格￥1,500）	ブラック	DW0X120668101
			グレー	DW0X120668209
		￥2,940（本体価格￥2,800）	ステンレス	DW2U12092102
＊ごとく（小）（後コンロ用）		￥1,260（本体価格￥1,200）	ブラック	DW0X120698106
			グレー	DW0X120698204
		￥2,625（本体価格￥2,500）	ステンレス	DW3E12113107
＊バーナーキャップ（大）（左右コンロ）12A・13A用		￥1,575（本体価格￥1,500）	ブラック	DW2Q320020100
			グレー	DW2Q320020208
		￥2,310（本体価格￥2,200）	ステンレス	DW3E320090109
＊バーナーキャップ（大）（左右コンロ用）LP用		￥1,575（本体価格￥1,500）	ブラック	DW1L320031013
			グレー	DW1L320032010
		￥2,310（本体価格￥2,200）	ステンレス	DW3E320040104
＊バーナーキャップ（小）（後コンロ用）		￥1,050（本体価格￥1,000）	ブラック	DW1F320187103
		￥　945（本体価格￥　900）	グレー	DW1F320187201
		￥1,890（本体価格￥1,800）	ステンレス	DW3E320140107
＊グリル排気口カバー		￥　788（本体価格￥　750）	ブラック	DW3C120050109
			グレー	DW3C120050207
		￥1,890（本体価格￥1,800）	クロムメッキ	DW3C120050305
グリル焼網		￥5,775（本体価格￥5,500）		DW2T33049105
グリル受け皿		￥3,675（本体価格￥3,500）		DW2T33048108
サイドカバー（左）		￥　630（本体価格￥　600）		DW2T33058005
サイドカバー（右）		￥　630（本体価格￥　600）		DW2T33060004
ダッチオーブンふた		￥6,825（本体価格￥6,500）		DW2T65014100
ダッチオーブン本体		￥8,925（本体価格￥8,500）		DW2T65013103
ダッチオーブン網		￥　840（本体価格￥　800）		DW2T65015009
ダッチオーブン支持枠		￥1,575（本体価格￥1,500）		DW2T65016006
レシピカードセット		￥1,260（本体価格￥1,200）		DW2T65008103

2009年8月現在の価格です。価格・仕様は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、0120-38-8180にお問い合わせください。乾電池は電気店などでお買い求めください。
＊カラーについては、製品毎に違うため、お問い合わせください。
※イラストは参考です。詳しくは『各部のなまえ』（3ページ）を参照してください。

別売部品

別売部品

◇お買い上げの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。

名　称	形　状	現金標準価格：税込	部品コード
ダッチオーブンセット ・ダッチオーブンふた ・ダッチオーブン網 ・ダッチオーブン本体 ・ダッチオーブン支持枠 ・レシピカードセット ・鍋つかみ		￥15,750 （本体価格 ￥15,000）	DP 0127
調理プレートセット ・調理プレート ・ホルダー ・調理プレート クッキングブック		￥3,990 （本体価格 ￥3,800）	LP 0132
ステンレス用クリーナー	（1本）	￥1,050 （本体価格 ￥1,000）	LP 0127A （1本）
	（6本セット）	￥6,300 （本体価格 ￥6,000）	LP 0127 （6本セット）
ガラストップクリーナー	（1本）	￥　892 （本体価格 ￥850）	LP 0125A （1本）
	（6本セット）	￥5,355 （本体価格 ￥5,100）	LP 0125 （6本セット）
炊飯専用鍋		￥4,410 （本体価格 ￥4,200）	LP 0120

2009年8月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、もよりの弊社にお問い合わせください。

保証書

保　証　書

品　　　　名	ガスビルトインコンロ

このたびは当社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または、もよりの弊社が無料修理致します。
2．保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、もよりの弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、もよりの弊社にご相談ください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
6．本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　（イ）　住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
　（ロ）　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
　（ハ）　工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
　（ニ）　お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
　（ホ）　建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
　（ヘ）　適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
　（ト）　ガスの供給事情による故障および損傷。
　（チ）　指定規格以外のガス（ガスグループ）および電気（指定外の電池含む）で使用された場合。
　（リ）　火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
　（ヌ）　海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性の有害ガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
　（ル）　ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
　（ヲ）　消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
　（ワ）　熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
　（カ）　本書の提示がない場合。
　（ヨ）　本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お　　客　　様	お　名　前	TEL
	ご　住　所 〒	
保　証　期　間	**お買い上げ　　　　年　　　　月　　　　日から１年間**	
販　　売　　店	店　　　名	TEL
	住　　　所 〒	

※保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

株式会社ハーマン
〒554-0023
大阪市此花区春日出南3－2－10
TEL　06（4804）8600

年　　月　　日	修　理　記　録　（　修　理　内　容　）	サ ー ビ ス 員 ㊞

長年ご使用のガス機器の点検をぜひ！

・ときどきガスくさい。
・焦げくさい臭いがする。
・スイッチやボタンの操作が不確実。
・コンロ部、グリル部が点火しにくい。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、ガス栓を閉じ、故障や事故防止のため、
必ず販売店に点検・修理を相談してください。

株式会社ハーマン

本社　〒554-0023 大阪市此花区春日出南3-2-10
TEL　06(4804)8600

アフターサービスについての
お問い合わせは

修理受付センター

サービスはハイハーマン

電話料金無料 **0120-38-8180**

◆受付時間／24時間サービス受付

商品についてのお問い合わせは

お客様センター

☎**06-4804-8614**

◆受付時間／平日、土曜日9:00～18:00
（日･祝日･弊社指定休日は除く）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。